

# 勉誠出版

## 大阪歴史学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品**20%OFF**

割引クーポンコード:d7f214ba75  
(期限:~2023年7月31日)

謹啓

薫風の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。  
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。  
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠出版タイトル全品が対象となります。  
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

### ●ご注文について

- 弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。  
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード:d7f214ba75 (期限:~2023年7月31日)

**こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください！**

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- メール添付、FAX、電話でもお受けしております。  
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- 3,000円以上のお買い上げで、国内全国送料サービス**  
(※ 3,000円未満の場合は、300円を頂戴いたします。海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

**\*ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、  
大阪歴史学会の会員であることをお知らせください。**

### ●ご連絡先

Mail [info@bensei.jp](mailto:info@bensei.jp)

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

【勉誠出版】研究書 近刊・新刊書籍リスト

2023・2022年刊行分 **20%引き**

	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価(税込)	割引価格	注文数
<b>■事典・総記■</b>							
近刊	世界神話伝説大事典(オンデマンド版)	篠田知和基・丸山顯徳 編	2023/06	80036-1	27,500	<b>22,000</b>	
	江戸時代前期出版年表〔万治元年～貞享五年〕	岡 雅彦 編	2023/03	32029-6	35,200	<b>28,200</b>	
	坂口安吾大事典	安藤宏・大原祐治・十重田裕一 編集代表	2022/06	20079-6	15,400	<b>12,300</b>	
	書物学 第23巻 文化財をつなぐひと・もの・わざ —香雪美術館書画コレクションを支える装演修理の世界	編集部 編	2023/04	30724-2	1,980	<b>1,600</b>	
	書物学 第22巻 禪寺の学問—相国寺・両足院の知の体系	編集部 編	2023/02	30722-8	1,980	<b>1,600</b>	
	書物学 第21巻 活字—近代日本を支えた小さな巨人たち	編集部 編	2022/12	30721-1	1,980	<b>1,600</b>	
	書物学 第20巻 追憶のサムライ —中世武士のイメージとリアル	横浜市歴史博物館 編	2022/10	30720-4	1,980	<b>1,600</b>	
	書物学 第19巻 紙のレンズから見た古典籍	編集部 編	2022/02	30719-8	1,980	<b>1,600</b>	
<b>■歴史・文化財・美術史・思想史■</b>							
近刊	地方史誌から世界史へ—比較地方史誌学の射程(仮)	小二田 章 編	2023/06	32028-9	8,800	<b>7,000</b>	
近刊	古文書研究 第95号	日本古文書学会 編	2023/06	32405-8	4,180	<b>3,300</b>	
近刊	近世戯作の(近代)(オンデマンド版) —継承と断絶の出版文化史	山本和明 著	2023/06	99174-8	9,900	<b>7,900</b>	
	霊峰の文化史—世界遺産・富士山と世界の山岳信仰	秋道智彌 著	2023/05	33005-9	3,520	<b>2,800</b>	
	江戸時代の貸本屋 —庶民の読書熱、馬琴の創作を支えた書物流通の拠点	長友千代治 著	2023/05	39029-9	5,500	<b>4,400</b>	
	朝川図と蘭亭曲水図—イメージとテキストの交響	野田麻美・静岡県立美術館 編	2023/05	37009-3	10,450	<b>8,400</b>	
	モノと権威の東アジア交流史—鑑真から清盛まで	シャルロット・フォン・ヴェアシュア 著	2023/04	32022-7	5,280	<b>4,200</b>	
	深草瑞光寺所蔵 元政上人資料集 —近世京洛寺院の学問とネットワーク	岡雅彦・落合博志・桑名法児・長田和也・中前正志・那須陽一郎・原雅子・村木敬子 編	2023/03	31013-6	22,000	<b>17,600</b>	
	黄泉の国との契約書—東アジアの買地券	稲田奈津子・王海燕・榊佳子 編著	2023/03	32030-2	4,180	<b>3,300</b>	
	二一世紀の川劇—文化資源化の視点から	江玉 著	2023/03	37007-9	7,480	<b>6,000</b>	
	グレーゾーンと帝国—歴史修正主義を乗り越える生の営み	高綱博文・門間卓也・関智英 編	2023/03	32027-2	5,720	<b>4,600</b>	
	文と書—中国書字思想の探究	亀澤孝幸 著	2023/03	37008-6	8,800	<b>7,000</b>	
	古代日本の儀礼と音楽—芸能一場の論理から奏楽の脈絡を読む	平間充子 著	2023/02	37006-2	11,000	<b>8,800</b>	
	明治・大正・昭和の時代劇メディアと時代考証	大石学・時代考証学会 編	2023/02	32025-8	3,520	<b>2,800</b>	
	日ソ戦争史の研究	日ソ戦争史研究会 編	2023/02	32026-5	13,200	<b>10,600</b>	
	鎌倉時代禅僧喫茶史料集成	館隆志 著	2023/02	31014-3	14,850	<b>11,900</b>	
	中世醍醐寺と真言密教(オンデマンド版)	藤井雅子 著	2023/01	83170-9	10,780	<b>8,600</b>	
	もやもや日本近代美術—境界を揺るがす視覚イメージ	増野恵子・安松みゆき・河田明久・志邨匠子・瀧井直子・奥間政作・石井香絵 編	2022/12	37004-8	5,280	<b>4,200</b>	
	見る・知る・考える 明治日本の産業革命遺産 —日本と世界をつなぐ世界遺産	岩下哲典・藤村泰夫 編	2022/12	32023-4	2,640	<b>2,100</b>	
	古文書研究 第94号	日本古文書学会 編	2022/12	32404-1	4,180	<b>3,300</b>	
	新羅政治社会史研究	武田幸男 著	2022/12	32024-1	13,200	<b>10,600</b>	
	生産・流通・消費の近世史(オンデマンド版)	渡辺尚志 編	2022/11	82153-3	8,800	<b>7,000</b>	
	火葬と両墓制の仏教民俗学—サンマイのフィールドから(オンデマンド版)	岩田重則 著	2022/10	82212-7	6,600	<b>5,300</b>	
	現代ドイツへの視座—歴史学的アプローチ2 ナチズム・ホロコーストと戦後ドイツ(オンデマンド版)	石田勇治・川喜田敦子 編	2022/10	82513-5	6,600	<b>5,300</b>	
	むらりたちの生活モード—中世日本民衆生活史入門	蔵持重裕 著	2022/10	32018-0	4,180	<b>3,300</b>	
	公文書管理法時代の自治体と文書管理	宮間純一 編	2022/10	30008-3	6,600	<b>5,300</b>	
	ナチスとユダヤ企業—経済の脱ユダヤ化と水晶の夜	山本達夫 著	2022/09	33003-5	8,800	<b>7,000</b>	
	上杉本洛中洛外図屏風の研究—桑実寺縁起絵巻と共に	小谷量子 著	2022/09	32020-3	9,900	<b>7,900</b>	
	中国の都市の歴史的記憶 —一九世紀後半～二〇世紀前半の日本語表象	和田博文・王志松・高潔 編	2022/09	32021-0	7,700	<b>6,200</b>	
	カルナとアルジュナ『マハーバーラタ』の英雄譚を読む	川尻道哉 著	2022/08	31011-2	2,640	<b>2,100</b>	
	近世期百姓の土地所持意識と村落共同体	菅原一 著	2022/08	32019-7	8,800	<b>7,000</b>	
	伝達と変容の日本建築史—伝わるかたち／伝えるわざ	野村俊一 編	2022/07	35001-9	3,850	<b>3,100</b>	
	古文書研究 第93号	日本古文書学会 編	2022/07	32403-4	4,180	<b>3,300</b>	
	醍醐寺の仏像 第三巻 明王	総本山醍醐寺 監修／副島弘道 編	2022/07	37203-5	46,200	<b>37,000</b>	
	食べるとはということか	佐藤洋一郎 著	2022/07	33002-8	3,080	<b>2,500</b>	
	史学科の比較史—歴史学の制度化と近代日本	小澤実・佐藤雄基 編	2022/05	32017-3	7,700	<b>6,200</b>	
	中世東国日蓮宗寺院の地域的展開	佐藤博信 著	2022/05	32016-6	13,200	<b>10,600</b>	
	歌う民衆と放歌高吟の近代 —放歌民衆から唱歌・軍歌を歌う国民へ	永嶺重敏 著	2022/05	37003-1	3,850	<b>3,100</b>	
	北条義時の生涯—鎌倉幕府の草創から確立へ	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2022/04	32014-2	3,080	<b>2,500</b>	
	中世神道入門—カミとホトケの織りなす世界	伊藤聡・門屋温 監修／新井大祐・鈴木英之・大東敬明・平沢卓也 編	2022/04	31006-8	4,180	<b>3,300</b>	
	一刀斎先生剣法書訳注—剣豪伊藤一刀斎の教え	竹田隆一・長尾直茂 編	2022/03	37002-4	1,980	<b>1,600</b>	

	ことば・ほとけ・画像の交響—法会・儀礼とアーカイヴ	近本謙介 編	2022/03	31009-9	13,200	10,600	
	宗教遺産テキスト学の創成	木俣元一・近本謙介 編	2022/03	31008-2	16,500	13,200	
	宋版一切経（福州版）調査提要 —本源寺蔵の調査を通して	福州版一切経調査研究会 編	2022/03	31010-5	7,150	5,700	
	奈良絵本『太平記』の世界 —永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに研究	中根千絵・森田真之 編	2022/03	39007-7	55,000	44,000	
	中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇	李松 著／土屋昌明・齋藤龍一 監訳／ 廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美 訳	2022/02	37001-7	38,500	30,800	
	古文書研究 第92号	日本古文書学会 編	2022/01	32402-7	4,180	3,300	
	知っておきたい和食の文化	佐藤洋一郎 編	2022/01	33001-1	3,080	2,500	
	コレクションとアーカイヴ—東アジア美術研究の可能性	板倉聖哲・塚本麿充 編	2022/01	37000-0	10,450	8,400	
■ 古典文学・文学史 ■							
	深掘り！紫式部と源氏物語	中野幸一 著	2023/04	39010-7	2,640	2,100	
	平安文学の饗宴	中野幸一 編	2023/04	39028-2	16,500	13,200	
	杜甫研究年報 第六号	日本杜甫学会 編	2023/04	39446-4	3,300	2,600	
	俊頼髄脳全注釈	家永香織・小野泰央・鹿野しのぶ・館野文 昭・福田亮雄 著	2023/03	39025-1	16,500	13,200	
	学習院本「藤袴」（榊原本僚帖）の書誌学的考察	武藤那賀子 著	2023/03	39023-7	16,500	13,200	
	近世後期江戸小説論攷	山本和明 著	2023/02	39022-0	11,000	8,800	
	伝承と現代—民俗学の視点と可能性	加藤秀雄 著	2023/02	33004-2	8,800	7,000	
	源氏物語歌謡	伊東祐子 著	2023/02	39017-6	7,150	5,700	
	王朝物語論考—物語文学の端境期	横溝博 著	2023/02	39024-4	13,200	10,600	
	谷崎潤一郎の世界史—『陰翳礼讃』と20世紀文化交流	西村将洋 著	2023/02	39020-6	5,280	4,200	
	宣教師の日本語文学 研究と目録	郭南燕 編著	2023/02	39026-8	12,100	9,700	
	フェイク・スペクトラム—文学における〈嘘〉の諸相	納富信留・明星聖子 編	2023/01	39015-2	3,520	2,800	
	文学から環境を考える エコクリティシズムガイドブック （オンデマンド版）	小谷一明・巴山岳人・結城正美・豊里真弓・ 喜納育江 編	2023/01	89080-5	3,080	2,500	
	日本古典文学を世界にひらく Opening Classical Japanese Literature to the World—EAJS（ヨーロッパ日本研究協会）で発表し よう Presentations at EAJS	横溝博／クレメンツ・レベッカ／ ノット・ジェフリー 編	2022/12	39014-5	4,950	4,000	
	Ghostly Japan as Seen by Lafcadio Hearn 【平川祐弘決定版著作集】	平川祐弘 著	2022/11	39019-0	13,200	10,600	
	京都文化および動植物の国文学的探究—矢野貴一著作集	矢野貴一 著	2022/11	39011-4	16,500	13,200	
	日本近世中期上方学芸史研究—漢籍の読書	稲田篤信 著	2022/11	39013-8	9,900	7,900	
	慈円『法華要文百首』全釈	石川一 編	2022/11	39016-9	9,900	7,900	
	室町の学問と知の継承—移行期における正統への志向（オンデマンド 版）	田中尚子 著	2022/11	89156-7	11,000	8,800	
	和漢朗詠集とその享受 増訂新版	三木雅博 著	2022/10	39012-1	16,500	13,200	
	樋口一葉詳細年表	伊藤氏貴・能地克宜 編	2022/10	30007-6	16,500	13,200	
	日本近現代知識人・文学者の韓国認識	崔在喆 著	2022/08	39008-4	12,100	9,700	
	杜甫研究年報 第五号（杜甫研究年報）	日本杜甫学会 編	2022/04	39445-7	2,200	1,800	
	入門 中国学の方法	二松学舎大学文学部中国文学科 編	2022/04	30005-2	1,760	1,400	
	訳注 琉球文学 『佐銘川大ぬし由来記』『周蘭両姓記事』 『思出草』『浮繩雅文集』『雨夜物語』『永峰和文』	島村幸一・小此木敏明・屋良健一郎 著	2022/03	39009-1	12,100	9,700	
	本朝文粹抄 七	後藤昭雄 著	2022/02	39511-9	3,520	2,800	
	飛鳥井家歌学の形成と展開	日高愛子 著	2022/01	39006-0	12,100	9,700	
■ 日本語学・言語学 ■							
	方言地理学の視界	小林隆・大西拓一郎・篠崎晃一 編	2023/05	38003-0	8,800	7,000	
	日韓漢文訓読研究（オンデマンド版）	藤本幸夫 編	2022/11	88015-8	11,000	8,800	
	続「訓読」論—東アジア漢文世界の形成（オンデマンド版）	中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 編	2022/11	88001-1	6,600	5,300	
	「訓読」論（オンデマンド版）—東アジア漢文世界と日本語 （オンデマンド版）	中村春作・市來津由彦・田尻祐一郎・前田勉 共編	2022/11	83184-6	5,280	4,200	
	論究日本近代語 第2集	日本近代語研究会 編	2022/03	38522-6	16,500	13,200	
	地域文化の可能性	木部暢子 編	2022/03	32015-9	2,970	2,400	
■ 〈アジア遊学〉 ■							
近刊	号数未定 近世日本のキリシタンと異文化交流（仮）	大橋幸泰 編	2023/07	未定	予備3,080	予備2,500	
近刊	283 東アジアの後宮	伴瀬明美・稲田奈津子・榊佳子・保科季子 編	2023/06	32529-1	3,520	2,800	
	282 列島の中世地下文書—諏訪・四国山地・肥後	春田直紀 編	2023/05	32528-4	3,300	2,600	
	281 神道の近代—アクチュアリティを問う	伊藤聡・斎藤英喜 編	2023/03	32527-7	3,520	2,800	
	280 都市と宗教の東アジア史	西本昌弘 編	2023/03	32526-0	3,300	2,600	
	279 上海フランス租界への招待—日仏中三か国の文化交流	榎本泰子・森本頼子・藤野志織 編	2023/01	32525-3	3,520	2,800	
	278 呪術と学術の東アジア—陰陽道研究の継承と展望	陰陽道史研究会 編	2022/12	32524-6	3,300	2,600	
	277 宋代とは何か—最前線の研究が描き出す新たな歴史像	平田茂樹・山口智哉・小林隆道・梅村尚樹 編	2022/11	32523-9	3,520	2,800	
	276 村と民衆の戦国時代史—藤木久志の歴史学	稲葉継陽・清水克行 編	2022/10	32522-2	3,300	2,600	
	275 「唐物」とは何か—舶載品をめぐる文化形成と交流	河添房江・皆川雅樹 編	2022/10	32520-8	3,080	2,500	
	274 呉越国 10世紀東アジアに華開いた文化国家	瀧朝子 編	2022/10	32521-5	3,520	2,800	
	273 日本の中世貨幣と東アジア	中島圭一 編	2022/09	32519-2	3,520	2,800	

272	対馬の渡来版経一護り伝える東アジアの至宝	横内裕人 編	2022/08	32518-5	3,520	2,800	
271	儒教思想と絵画—東アジアの勸戒画	水野裕史 編	2022/06	32517-8	3,520	2,800	
270	日本中世の課税制度—段銭の成立と展開	志賀節子・三枝暁子 編	2022/05	32516-1	3,080	2,500	
269	近代中国美術の境界—越境する作品、交錯する藝術家	瀧本弘之・戦暁梅 編	2022/05	32515-4	3,850	3,100	
268	アジアの生産とテクノロジー—リブログクシンの最前線	白井千晶 編著	2022/03	32514-7	3,080	2,500	
267	中国の娯楽とジェンダー—女が変わる／女が変わる	中国ジェンダー研究会 編	2022/03	32513-0	3,080	2,500	
266	大日本帝国期の建築物が語る近代史 —過去・現在・未来	上水流久彦 編	2022/02	32512-3	3,080	2,500	
265	宗教芸能としての能楽	高橋悠介 編	2022/01	32511-6	3,300	2,600	
<b>■図書館学・アーカイブ■</b>							
	デジタルアーカイブの新展開	時実家一 著	2023/03	30009-0	2,310	1,800	
	知識インフラの再設計(デジタルアーカイブ・ベーシックス)	数藤雅彦 責任編集	2022/11	30301-5	3,520	2,800	
	国葬の成立—明治国家と「功臣」の死	宮間純一 著	2015/11 (2022/9重版)	22130-2	3,520	2,800	
	調べ物に役立つ 図書館のデータベース	小曾川真貴 著	2022/08	30006-9	1,980	1,600	
	日米交流史の中の福田なをみ —「外国研究」とライブラリアン	小出いづみ 著	2022/02	30004-5	7,700	6,200	
<b>歴史関連書籍(2021年以前刊行) 20%引き</b>							
	合戦図 描かれた〈武〉	中根千絵・薄田大輔 編	2021/12	32013-5	17,600	14,100	
	聖徳太子信仰とは何か	榊原史子 著	2021/12	31007-5	4,180	3,300	
	書物に魅せられた奇人たち—英国愛書家列伝	高宮利行 著	2021/12	39005-3	4,180	3,300	
	中国史書入門 現代語訳 北齊書	氣賀澤保規 監修／池田恭哉・岡部毅史・ 梶山智史・倉本尚徳・田熊敬之 訳	2021/12	29612-6	6,600	5,300	
	都市からひもとく西アジア—歴史・社会・文化 【アジア遊学264】	守川知子 編	2021/12	32510-9	3,080	2,500	
	慶應義塾図書館蔵 論語疏卷六 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵 論語義疏 影印と解題研究	慶應義塾大学論語疏研究会 編	2021/11	31004-4	19,800	15,800	
	室町前期の文化・社会・宗教—『三国伝記』を読みとく 【アジア遊学263】	小助川元太・橋本正俊 編	2021/11	32509-3	3,080	2,500	
	従軍日記と報道挿絵が伝える庶民たちの日露戦争	西川武臣 著	2021/10	32008-1	4,180	3,300	
	室町文化の座標軸—遣明船時代の列島と文事	芳澤元 編	2021/10	32011-1	10,780	8,600	
	日本中世社会と村住人	蔵持重裕 編	2021/10	32009-8	10,450	8,400	
	英国初期印刷本研究への誘い —書誌学から文学・社会・歴史研究へ	向井剛 著	2021/10	32012-8	6,600	5,300	
	資料論がひらく軍記・合戦図の世界 —理文融合型資料論と史学・文学の交差 【アジア遊学262】	井上泰至 編	2021/10	32508-6	3,520	2,800	
	首里城を解く—文化財継承のための礎を築く	高良倉吉 監修／島村幸一 編	2021/09	32001-2	4,180	3,300	
	戦国時代劇メディアの見方・つくり方 —戦国イメージと時代考証	大石学・時代考証学会 編	2021/09	32006-7	3,520	2,800	
	アヘンからよむアジア史【アジア遊学260】	内田知行・榊原俊 編	2021/09	32506-2	3,080	2,500	
	中世武家領主の世界—現地と文献・モノから探る	田中大喜 編	2021/08	32003-6	4,180	3,300	
	近世の村と百姓	渡辺尚志 著	2021/08	32002-9	10,780	8,600	
	日本古代の仏教者と山林修行	小林崇仁 著	2021/08	31003-7	13,200	10,600	
	古建築調査ハンドブック	山岸常人・岸泰子・登谷伸宏 著	2021/08	35000-2	1,540	1,200	
	書物のなかの近世国家—東アジア「一統志」の時代 【アジア遊学259】	小二田章・高井康典行・吉野正史 編	2021/08	32505-5	3,300	2,600	
	杉田玄白と江戸の蘭学塾—「天真樓」塾とその門流	片桐一男 著	2021/07	32004-3	7,700	6,200	
	古文書研究 第91号	日本古文書学会 編	2021/07	32401-0	4,180	3,300	
	史料が語る東インド航路—移動がうみだす接触領域 【アジア遊学258】	水井万里子・大澤弘晃・杉浦末樹・吉田信・ 伏見岳志 編	2021/07	32504-8	3,080	2,500	
	交錯する宗教と民族—交流と衝突の比較史【アジア遊学257】	鹿毛敏夫 編	2021/07	32503-1	3,080	2,500	
	書物・印刷・本屋—日中韓をめぐる本の文化史	藤本幸夫 編	2021/06	30002-1	17,600	14,100	
	創られた由緒—近世大和国諸社と在地神道家	向村九音 著	2021/06	31002-0	8,800	7,000	
	中世寺院の仏法と社会	永村真 編	2021/06	31001-3	13,200	10,600	
	元朝の歴史—モンゴル帝国期の東ユーラシア 【アジア遊学256】	櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡辺健哉 編	2021/06	32502-4	3,520	2,800	
	パブリック・ヒストリー入門(オンデマンド版) —開かれた歴史学への挑戦	菅豊・北條勝貴 編	2021/05	82254-7	5,280	4,200	
	大宅壮一文庫解体新書—雑誌図書館の全貌とその研究活用	阪本博志 編	2021/05	30001-4	3,850	3,100	
	勤番武士の江戸滞在記—国枝外右馬江戶詰中日記	岩淵令治 編	2021/03	32000-5	11,000	8,800	
	パリ・ノートル＝ダム大聖堂の伝統と再生 —歴史・信仰・空間から考える	坂野正則 編	2021/03	31000-6	8,800	7,000	
	土地の記憶から読み解く早稲田—江戸・東京のなかの小宇宙	ローザ・カーオリ 著／大内紀彦、 フィリッポ・ドルネッティ 訳	2021/03	22299-6	2,970	2,400	
	日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/03	20074-1	3,850	3,100	
	増補改訂新版 日本中世史入門—論文を書こう	秋山哲雄・田中大喜・野口華世 編	2021/02	22280-4	4,180	3,300	
	中世の博多とアジア	伊藤幸司 著	2021/02	22300-9	10,450	8,400	
	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/02	22301-6	9,900	7,900	
	鷹狩の日本史	福田千鶴・武井弘一 編	2021/02	22297-2	4,180	3,300	

絶滅危惧種を喰らう	秋道智彌・岩崎望 編	2021/01	24014-3	3,520	2,800
古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/01	22277-4	3,300	2,600
江戸庶民のまじない集覧—創意工夫による生き方の智恵	長友千代治 著	2020/10	20076-5	6,600	5,300
生きるための地域史—東海地域の動態から	中村只吾・渡辺尚志 編	2020/10	22290-3	8,800	7,000
金沢文庫古文書 喫茶関係編年資料集	永井晋 編	2020/09	22288-0	11,000	8,800
中世日本の茶と文化—生産・流通・消費をとおして 【アジア遊学252】	永井晋 編	2020/09	22718-2	3,080	2,500
ロマノフ王朝時代の日露交流	東洋文庫・生田美智子 監修／牧野元紀 編	2020/08	22286-6	4,180	3,300
儒教儀礼と近世日本社会—閩齋学派の『家礼』実践	松川雅信 著	2020/07	21056-6	11,000	8,800
古代の日本と東アジア—人とモノの交流史	鈴木靖民 著	2020/07	22279-8	11,000	8,800
新羅中古期の史的研究	武田幸男 著	2020/07	22278-1	13,200	10,600
書物学 第18巻 蔵書はめぐる —海外図書館の日本古典籍コレクション	編集部 編	2020/07	20718-4	1,980	1,600
スイス使節団が見た幕末の日本 —ブレンワルド日記1862-1867	横浜市ふるさと歴史財団・ブレンワルド日記 研究会 編	2020/06	22275-0	10,780	8,600
「本読み」の民俗誌—交差する文字と語り	川島秀一 著	2020/06	23081-6	3,850	3,100
近世大名墓の考古学—東アジア文化圏における思想と祭祀	松原典明 編	2020/06	22276-7	13,200	10,600
江戸日本橋商人の記録 —〈にんべん〉伊勢屋高津伊兵衛家の古文書	澤登寛聡・筑後則 編	2020/03	22269-9	12,100	9,700
琉球船漂着者の「聞書」世界—『大島筆記』翻刻と研究	島村幸一 編	2020/03	29197-8	11,000	8,800
日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/03	20073-4	7,700	6,200
甕「豊後切支丹史料」 —パチカン図書館所蔵マレガ氏収集文書より	松井洋子・佐藤孝之・松澤克行 編	2020/02	22261-3	13,200	10,600
近世都市の常態と非常態—人為的自然環境と災害	渡辺浩一／マシュー・デーヴィス 編	2020/02	22267-5	7,700	6,200
近世豪商・豪農の〈家〉経営と書物受容 —北奥地域の事例研究	鈴木淳世 著	2020/02	22265-1	11,000	8,800
日本近世社会と町役人	望月良親 著	2020/02	22266-8	6,600	5,300
歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/02	22257-6	11,000	8,800
幕末明治の社会変容と詩歌	青山英正 著	2020/02	29196-1	11,000	8,800
古文書の様式と国際比較	小島道裕・田中大喜・荒木和憲 編／ 国立歴史民俗博物館 監修	2020/02	22272-9	8,580	6,900
医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/02	20072-7	13,200	10,600
日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/02	22268-2	18,700	15,000
北条氏発給文書の研究 附 発給文書目録	北条氏研究会 編	2019/10	22256-9	16,500	13,200
近世・近現代 文書の保存・管理の歴史	佐藤孝之・三村昌司 編	2019/10	22253-8	4,950	4,000
鎌倉北条氏人名辞典	菊池紳一 監修／北条氏研究会 編	2019/10	22255-2	19,800	15,800
戦国期武田氏領の研究—軍役・諸役・文書	柴辻俊六 著	2019/08	22248-4	10,780	8,600
京都観音めぐり 洛陽三十三所の寺宝	平成洛陽三十三所観音霊場会・ 京都府京都文化博物館 監修／長村祥知 編	2019/07	21053-5	3,080	2,500
室町戦国日本の覇者 大内氏の世界をさぐる	大内氏歴史文化研究会 編／伊藤幸司 責任 編集	2019/07	22247-7	4,180	3,300
書物学 第16巻 特殊文庫をひらく —古典籍がつなぐ過去と未来	編集部 編	2019/07	20716-0	1,650	1,300
戦国日本のキリシタン布教論争	高橋裕史 著	2019/05	22236-1	5,060	4,000
書籍文化史料論	鈴木俊幸 著	2019/05	22240-8	11,000	8,800
日本の文化財—守り、伝えていくための理念と実践	池田寿 著	2019/03	20064-2	3,520	2,800
由緒・偽文書と地域社会—北河内を中心に	馬部隆弘 著	2019/02	22231-6	12,100	9,700
よみがえる荘園—景観に刻まれた中世の記憶	海老澤袁 編	2019/02	22233-0	10,780	8,600
隠れキリシタンの布教用ノート 吉利支丹抄物 影印・翻刻・現代語訳	大塚英二 編	2019/01	22230-9	11,000	8,800
関ヶ原を読む—慶長軍記 翻刻・解説	井上泰至・湯浅佳子 編	2018/12	22227-9	6,600	5,300
変革期の社会と九条兼実—『玉葉』をひらく	小原仁 編	2018/10	22217-0	11,000	8,800
画期としての室町—政事・宗教・古典学	前田雅之 編	2018/10	22219-4	11,000	8,800
長篠合戦の史料学—いくさの記憶	金子拓 編	2018/10	22222-4	5,500	4,400
近代日本の偽史言説 —歴史語りのインテレクチュアル・ヒストリー	小澤実 編	2017/01	22192-0	4,180	3,300
関ヶ原はいかに語られたか—いくさをめぐる記憶と言説 【アジア遊学 212】	井上泰至 編	2017/08	22678-9	2,420	1,900
日本古代交流史入門	鈴木靖民・金子修一・田中史生・李成市 編	2017/06	22161-6	4,180	3,300
古文書料紙論叢	湯山賢一 編	2017/06	22184-5	18,700	15,000
中世地下文書の世界—史料論のフロンティア【アジア遊学209】	春田直紀 編	2017/06	22675-8	3,080	2,500
紙の日本史—古典と絵巻物が伝える文化遺産	池田寿 著	2017/05	22176-0	2,640	2,100
文化財としてのガラス乾板—写真が紡ぎなおす歴史像	久留島典子・高橋則英・山家浩樹 編	2017/04	22173-9	4,180	3,300
「倭寇図巻」「抗倭図巻」をよむ	須田牧子 編	2016/04	22139-5	7,700	6,200
上代写経識語注釈	上代文献を読む会 編	2016/03	22138-8	14,300	11,400
日明関係史研究入門	村井章介 編集代表／橋本 雄・伊藤幸司・ 須田牧子・関 周一 編	2015/10	22126-5	4,180	3,300
東アジアのなかの建長寺	村井章介 著	2014/11	22101-2	3,850	3,100
入唐僧惠尊と東アジア 附 惠尊関連史料集	田中史生 編	2014/09	22093-0	5,500	4,400
書誌学入門	堀川貴司 著	2010/04	20001-7	1,980	1,600

# モノと権威の 東アジア交流史

## 鑑真から清盛まで

シャルロツテ・フォン・ヴェアシュア〔著〕

巻頭言◎鈴木靖民（國學院大學名誉教授）

対外交易の歴史的意義を探る古代東アジアにおいて、対外交易はごく限られた機会のものではあったが、それだけに一層、各国の政治や文化の形成に大きなインパクトを与えてきた。特に日本においては、中国や朝鮮半島から伝わる最新の情報やモノは、権威の象徴としても重要な位置を占めるものであった。「モノ」「ヒト」「情報」など諸種の要素を仔細に検討することで、政治・経済・文化にわたる重層的な「対外交易」の実態と歴史的意義を照射。物質文化史・対外関係史・農業史・比較史など多角的な視点を駆使し、従来の歴史理解へ新たな視点を提示してきた著者による、長編の書き下ろしを含む最新論集。

著者プロフィール

シャルロツテ・フォン・ヴェアシュア (Charlotte von Verschuer)

フランス・高等研究院歴史学部教授。専門は日本古代・中世の国際関係と物質文化の歴史。日本の経済史を対外貿易と国内生活の二面から研究している。著書に『モノが語る日本対外交易史——七〜十六世紀』（河内春人訳、藤原書店、二〇二二）、『フランス語著書に「八〜九世紀の日中関係」（一九八五）、「平安時代と五穀文化」（二〇〇三）、「史料の賛辞：古代から近世の日本を考える」（共編著、二〇〇四）、「欧文日本古代史料解題辞典」（共編著、二〇〇六）などがある。

定価 五、二八〇円（税込）  
〔本体価格四、八〇〇円〕

四六判・上製カバー装・三六八頁  
ISBN978-4-585-32022-7 C3020  
二〇二三年五月刊行

- 第一章 九世紀日本の情報輸入体制  
第二章 帰国後の遣唐使の待遇について  
第三章 唐・宋における日本蓬萊観と水銀輸入について  
第四章 水銀と虎の皮——日渤海関係における特産品  
第五章 鑑真と香薬  
第六章 遣唐使と大安寺  
第七章 平安時代と唐物  
第八章 平清盛と唐船  
第九章 平氏政権の貿易体制  
補論1 地中海文明と古代ペルシャ、そして日本の唐物  
補論2 仏教東流とキリスト教の西流  
——東シナ海と地中海の比較  
コラム 寧波の商人寄進石碑をめぐって

初出一覧・謝辞  
解説◎河内春人（関東学院大学准教授）  
索引

書名	部数
モノと権威の東アジア交流史 鑑真から清盛まで シャルロツテ・フォン・ヴェアシュア〔著〕	部
ご送付先ご住所（通信欄）	

定価5,280円（本体価格4,800円）

四六判・上製カバー装・368頁  
2023年5月刊行  
ISBN978-4-585-32022-7 C3020

# 黄泉の国との契約書

定価四、一八〇円(税込)  
(本体三、八〇〇円)

B5判並製・二四〇頁・フルカラー  
二〇二三年三月刊行  
ISBN978-4-585-32030-2 C1020

# 東アジアの 買地券

東アジアの墓葬遺構からは、

「買地券」と呼ばれる遺物が発見されることがある。

これは死者や遺族が、墓地を正當に購入したことを示す

売買契約書であり、その多くは冥界の神々と結んだ契約なのである。

古代中国に源を発し、

朝鮮半島や日本でもその遺例が発見されている「買地券」は、

時代・地域により様々な特徴を有し、

東アジアの文化交流史を考えるうえで貴重な資料である。

中国・朝鮮・日本に残る特色ある事例を

多数のカラー図版とともに紹介、

詳細な解説と釈文・現代語訳によって「黄泉の国との契約書」という

不思議な存在を読み解く初めての書。

図版点数二二〇点以上！

〔編著〕

稲田奈津子

(いなだ・なつこ) 東京大学史料編纂所准教授、  
専門は日本古代史・東アジア比較文化史。

王海燕

(ワン・ハイエン) 浙江大学歴史学院教授、  
専門は日本古代史・日中文化交流史。

榊佳子

(さかきかほこ) 東京大学史料編纂所学術専門職員、  
専門は日本古代史。

まえがき

前言／凡例

各論で取り上げた買地券の分布図

●中国

建初元年買山地題記

劉元台買地券

会稽亭侯買地券

COLUMN◎買地券にみえる神々

繆承買地券

天冊元年買地券

朱曼妻薛氏買地券

羅健夫妻買地券

羅道訓賣地券

COLUMN◎胡珍妻朱氏四娘壘

馬氏夫人墓誌

COLUMN◎江蘇省蘇州市新出の呉越北宋買地券二点

蔡氏買地券

丘氏兄弟買地券

COLUMN◎多彩な買地券

●朝鮮

武寧王買地券

關祥買地券

世賢買地券

兎山郡買地券

COLUMN◎金柱臣墓域の埋誌

●日本

矢田部益足買地券

宮ノ本遺跡出土買地券

COLUMN◎采女氏埜域碑と墓域の占有

●総論

虚実が交錯する古代中国の買地券…王海燕

買地券文化と朝鮮・日本…稲田奈津子

図版出典一覧／参考文献一覧／謝辞／収録資料一覧

書名

黄泉の国との契約書  
東アジアの買地券

稲田奈津子・王海燕・榊佳子(編著)

ご送付先ご住所(通信欄)

冊数

定価4,180円・本体3,800円

A5判並製カバー装・240頁・フルカラー  
2023年3月刊行  
ISBN978-4-585-32030-2 C1020

冊

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 <http://bensei.jp/>

FAX◎03-5215-9025

# 都市と宗教の 東アジア史

西本昌弘 [編]

アジア遊学  
280

中国の長安・洛陽、高句麗の平壤、百済の漢城、新羅の慶州、琉球の首里、ベトナムのハノイ、日本の奈良・京都・鎌倉・博多……東アジアには古代より様々な都市があった。これらの都市には、王権・社会の安寧や繁栄を祈り、民衆の除災・追福を願う重要な場として、宗教を基盤とした祭祀施設がつくられていた。東アジアにおける国家間、諸文化間の交流は、それら祭祀施設にどのような影響を与え、どのような変化をもたらしたのか。また、王権や公武政権をはじめとする社会諸集団はどのように変化に対応し、受容していったのか。考古学・文献史学・宗教史・美術史・東洋史など様々な視点から、東アジアの都市と宗教・祭祀の問題を捉え直す。

定価 3,300 円(本体 3,000 円)

A5判・並製カバー装・240頁  
ISBN978-4-585-32526-0 C1314  
2023年2月刊行

## 目次

序文：西本昌弘

### I 王都の宗教施設と儒教・仏教

中国 南北朝時代の王朝祭祀と都城：村元健一  
朝鮮三国の国家祭祀：田中俊明  
東アジアの祭天と日本古代の祭天：西本昌弘  
藤原京・平城京と宗教施設：鈴木景二

### II 漢人集団・天台宗・禅宗の渡来と定着

大和地域の百済系渡来人の様相  
——五・六世紀を中心にして：井上主税  
義真・円澄と中国天台：貫田瑛  
京都・地方禅林からみた北条得宗家と  
宋元仏教制度の導入：曾昭駿  
尼五山景愛寺と法衣の相伝：原田正俊

### III 東アジアの仏教交流と文物

奈良・平安初期の四天王寺における  
資財形成と東アジア：山口哲史  
宋元時代華北の都市名刹  
——釈源：洛陽白馬寺を中心にして：藤原崇人  
琉球・円覚寺の仏教美術——中国・朝鮮・日本：長谷洋一  
阮朝初期におけるベトナム北部の仏教教団  
——福田和尚安禪の仏書刊行と教化活動：宮嶋純子

## 編者プロフィール

### 西本昌弘 (にしもと まさひろ)

関西大学文学部教授。専門は日本古代史。  
主な著書に『日本古代の王宮と儀礼』(瑞書房、二〇〇八年)、『飛鳥・藤原と古代王権』(同成社、二〇一四年)、『早良親王』(吉川弘文館、二〇一九年)、『空海と弘仁皇帝の時代』(瑞書房、二〇二〇年)、『平安前期の政変と皇位継承』(吉川弘文館、二〇二二年)などがある。



書名

都市と宗教の東アジア史 [アジア遊学 280]

西本昌弘 [編]

ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)

部数

定価 3,300 円(本体 3,000 円)

A5判・並製カバー装・240頁  
ISBN978-4-585-32526-0 C1314  
2023年2月刊行

部

# 新羅政治社会史研究

武田幸男 〔著〕

## 〔目次〕

序言……『新羅政治社会史研究』編集協力者一同

第一章……朝鮮三国の滅亡と新羅の統一

第二章……「昌寧・真興王碑」の新研究

第三章……文献より見た伽耶

第四章……伽耶と新羅期の桂城「大千」に関する研究

第五章……新羅の毗曇の乱の一視角

第六章……新羅・興徳王代の色服・車騎・器用・屋舎制  
——とくに唐制との関連を中心にして——

第八章……新羅の村落支配  
——正倉院所蔵文書の追記をめぐって——

第九章……創塔・創寺縁起から見た新羅人の国際観

第一〇章……朝鮮の姓氏

附……慶州に見る朝鮮在地社会の一〇〇〇年史

初出一覧

索引

七世紀後半～一〇世紀前半の  
統一新羅時代を中心に  
統一過程を含む新羅の政治・制度の諸相と  
その基底をなした社会の特質および展開を、  
文献・金石文・古文書などを精緻に読み解き  
高麗・李朝時代まで射程に入れて歴史的に考察。  
朝鮮半島の政治史・社会史を考えるうえで  
基盤となる必備の一書

## 〔著者プロフィール〕

武田幸男（ただた・ゆきお）

東京大学名誉教授。専門は朝鮮前近代史。

著書に『学習院大学蔵朝鮮戸籍大帳の基礎的研究』（学習院

大学東洋文化研究所、一九八三年）、『高句麗史と東アジア』

（岩波書店、一九八九年）、『高麗史日本伝』上・下（岩波書店、

二〇〇五年）、『広開土王碑との対話』（白帝社、二〇〇七年）、

『広開土王碑墨本の研究』（吉川弘文館、二〇〇九年）、『新羅  
中古期の史的研究』（勉誠出版、二〇二〇年）などがある。

定価 一三、二〇〇円（＋税）  
（本体 一一、〇〇〇円）  
A5判・上製カバー装・四八八頁  
二〇二二年十二月刊行  
ISBN978-4-585-32024-1 C3022

書名	部数
<p>新羅政治社会史研究</p> <p>武田幸男〔著〕</p>	<p>定価 <b>13,200</b>円(本体価格12,000円)</p> <p>A5 判上製カバー装・488 頁</p> <p>ISBN 978-4-585-32024-1 C3022</p> <p>2022 年 12 月刊行</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

# 古代日本の 儀礼と音楽・芸能 場の論理から奏楽の脈絡を読む

平間充子(著)

古代日本の音楽演奏の特質を体系的にとらえる

7〜10世紀の日本における音楽・芸能は、誰がいつどこでどのように行い、観て聴いたのか。人間の営みとしての音楽・芸能について、演奏と視聴という行為が繰り広げられた時間と空間「場」が、どのような論理のもとで機能していたのかを検証。

正史・日記・儀式書などの記録類に見られる奏楽記事の精緻な読み解きや大陸音楽との比較を通して、奏楽が行われた儀礼の意義や展開をとらえるとともに、それぞれの場で選択された音楽や芸能の法則性(脈絡)や、君臣関係との結びつき、政治的・社会的意義を明らかにする。

## 目次

- 序章 一、本書の目的と研究史の整理 二、儀礼と音楽・芸能、その意義
- 第一部 **大陸音楽の導入と展開**
- 第一章 古代日本における葬送儀礼の芸能——大陸文化の導入とその政治的側面
- 第二章 踏歌節会の構造とその政治的意義——奈良時代を中心に
- 第三章 煬帝の百戲と日本の正月中旬饗宴儀礼——儀礼における奏楽の政治的意義について
- 第四章 中国の百戲と日本の相撲儀礼
- 第二部 **雅楽寮と左右近衛府の奏楽**
- 第一章 五月五日節における芸能
- 第二章 旬儀と宴の奏楽——平安前期の奉獻的儀礼と左右近衛府の芸能
- 第三章 律令的秩序と雅楽寮の奏楽——二宮大饗、大臣大饗、列見・定考、御齋会を中心に
- 第三部 **君臣関係と儀礼、その表象としての奏楽**
- 第一章 内宴・菊花宴と内教坊の奏楽——嵯峨天皇の政策を中心に
- 第二章 男踏歌に関する基礎的考察
- 第三章 平安時代の臨時祭における《東遊》
- 終章 あとがき
- 参考文献／史料の典拠刊本／初出一覧／索引

## 著者プロフィール

平間充子(ひらま：みちこ)

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター客員  
研究員、聖徳大学音楽学部講師(兼任講師)。

専門は日本音楽史、日本古代史。

共著に梅村恵子、片倉比佐子編『日本女性史論集7  
文化と女性』(吉川弘文館、一九九八年)、武内恵美子  
編『近世日本と楽の諸相』(京都市立芸術大学日本  
伝統音楽研究センター、二〇一九年)、古瀬奈津子編  
『古代日本の政治と制度——律令制・史料・儀式  
』(同成社、二〇二二年)などがある。

定価 11,000円  
本体 10,000円

A5判・上製カバー装・320頁  
ISBN978-4-585-37006-2 C3073  
2023年2月刊行

書名	部数
古代日本の儀礼と音楽・芸能 場の論理から奏楽の脈絡を読む 平間充子(著)	部
定価11,000円(本体価格10,000円) A5判・上製カバー装・320頁 2023年2月刊行 ISBN978-4-585-37006-2 C3073	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

# 俊頼髓脳全注釈

としよりのう ぜんちゆうしやく

家永香織・小野泰央・鹿野しのぶ・  
館野文昭・福田亮雄〔著〕

定価 一六、五〇〇円(税込)  
〔本体価格 一五、〇〇〇円〕

A5判・上製カバー装・七〇四頁  
ISBN978-4-585-39025-1 C3095  
二〇二三年三月刊行

古代歌論の総体、注釈および貴族説話のさきがけ、  
古代と中世における韻文散文の紐帯を  
解明する鍵がここにある。

約半世紀ぶりに書き換えられた

『俊頼髓脳』の完全注釈。

歌病・歌体・歌枕など初期歌論書における格式の集成は、  
言わば、古代歌論の総集であり、それに続く歌語釈は、  
現存最古の和歌注釈で、  
かつ『江談抄』とともに貴族説話の嚆矢でもある。  
定家本を底本にして

顕昭本・略本系本を対校した本文に、  
先行資料および同時代歌論書などの文献を網羅した  
語釈を付す『俊頼髓脳』全注釈である。

## 『俊頼髓脳』とは

源俊頼によって書かれた歌論書。二二二〜二二三年成立とされる。  
源俊頼は平安時代後期の貴族・歌人。『金葉和歌集』以後の勅撰和歌集  
に二〇一首入集。『金葉和歌集』(三十五首)と『千載和歌集』(五十二首)  
では最多入集歌人となっている。

## 俊頼髓脳全注釈

凡例

序／歌の姿、病を避るべきこと／歌の病を避ること／文字数／  
歌詠むもの／歌の詠み方―題の詠み方／景物の詠み方／  
歌の良しといふこと／言ひがら／似物／おぼろげにては詠むまじき詞／  
古歌に詠み増すこと／歌の返し／物の名を言はて、心に思はせたる歌／  
歌枕／歌語釈／連歌／歌語釈／歌道への執心／詠歌の遅速／  
能因法師の歌人としての態度／歌の良し悪し／  
好む者を歌詠みとはいふなり／良暹と経信／跋

## 解説

《概説》

- 1 『俊頼髓脳』と源俊頼
- 2 本書の本文と対校本について

《論考》

『俊頼髓脳』の構造◎小野泰央  
『俊頼髓脳』と後代の歌学書◎家永香織

あとがき◎家永香織  
索引

## 著者プロフィール

家永香織(いえなが・かおり)

一九六二年生。立教大学文学部特任教授。著書に『為忠家初度百首全釈』(風  
間書房・二〇〇七年)、『為忠家後度百首全釈』(同・二〇一一年)、『転換期  
の和歌表現 院政期和歌文学の研究』(青簡舎・二〇二二年)など。

小野泰央(おの・やすお)

一九六五年生。中央大学文学部教員。著書に『平安朝天曆期の文壇』(風  
間書房・二〇〇八年)、『中世漢文学の形象』(勉誠出版・二〇一一年)、『創  
造するための文章』(真珠書院・二〇一三年)など。

鹿野しのぶ(しかの・しのぶ)

一九七一年生。日本大学非常勤講師。著書に『冷泉為秀研究』(新典社・二  
〇一四年)など。

館野文昭(たての・ふみあき)

一九八四年生。埼玉大学大学院人文社会科学科准教授。著書に『中世歌  
学知』の史的展開』(花鳥社・二〇二二年)など。

福田亮雄(ふくだ・あきお)

一九六七年生。中央大学非常勤講師。真言宗成就院住職。

書名	部数
俊頼髓脳全注釈 家永香織・小野泰央・鹿野しのぶ・館野文昭・福田亮雄〔著〕	部
定価16,500円(本体価格15,000円) A5判・上製カバー装・704頁 2023年3月刊行 ISBN978-4-585-39025-1 C3095	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

平田茂樹・山口智哉・小林隆道・梅村尚樹 [編]

# 宋代とは何か

## 最前線の研究が描き出す 新たな歴史像

### 東洋史上の画期たる時代を

### どのように理解すべきか――

政治・経済のみならず、文化・思想・芸術・技術等、多種多様な分野において、大きな画期となった中国宋代。

21世紀に入り、

新史料の発掘や新たな史料分析の方法などが進展し、従来の宋代史像への見直しが迫られている。

歴史・文学・思想・美術など

諸分野の最前線を示す22の論考より、多角的視点から宋代を捉えなおし、

従来の通説とは異なる、

新たな時代像を提示する必読の一書。

#### 編者プロフィール

**平田茂樹**（ひらた・しげき）

大阪公立大学大学院文学研究科教授。専門は宋代史。主な著書に『科学と官僚制』(山川出版社、一九九七年)などがある。

**山口智哉**（やまぐち・ともや）

(台湾)国立台北大学歴史学系助理教授。専門は宋代社会史。主な著書に『五代在禪誌(全3冊)』(柳立言・李季翰・劉祥光・陳韻如らと共編著 広西師範大学出版社、二〇二二)、『二〇二二年』などがある。

**小林隆道**（こばやし・たかみち）

神戸女学院大学文学部准教授。専門は宋金元代史。

主な著書に『宋代中国の統治と文書』(汲古書院、二〇一三年)などがある。

**梅村尚樹**（うめむら・なおき）

北海道大学大学院文学研究科准教授。専門は宋代社会史・思想史。主な著書に『宋代の学校―祭祀空間の変容と地域意識』(山川出版社、二〇一八年)などがある。

アジア遊学 277

#### 目次

カラー口絵

序論：平田茂樹

【総論】宋代史はどこへ向かっているのか

……平田茂樹・小林隆道・梅村尚樹

宋代皇帝一覽

#### 第一部 政治史・制度史・都城史・法制史

北宋官制の構造と展開

――「元豊官制改革」の歴史的位置づけ：宮崎聖明

北宋末の南宋の政治史

――「皇帝親政」と「専権宰相」の時代：藤本 猛

宋都開封からの潮流

――十一から十三世紀における都城史の画期：久保田和男

南宋時代の姦通事件における

立証のジレンマ：趙 晶(山口智哉訳)

#### 第二部

宋代文士の旅行観

――「遠遊」と「離別」から：呉 雅婷(山口智哉訳)

宋画研究の現状

――意義の解析を中心として：陳 韻如(山口智哉訳)

宋代音楽史・東アジア音楽史の中の大晟楽：田中有紀

「コラム」宋代の飲食：塩 卓悟

「コラム」宋代の農業技術――水稻作を中心に：市村 導人

「コラム」宋代絵画の様式・技法と材料：塚本 慶允

#### 第三部

歐陽脩書簡九十六篇の発見

――新資料発見の経緯と九十六篇の特色：東 英寿

「土」と「農」―「勸農」と「躬耕」

――陸游とその田園詩について：浅見 洋二

道学研究の最前線：福谷 彬

宋代民間信仰研究の回顧と展望：王 燕萍

「コラム」北宋仏教の気風：齋藤 智寛

「コラム」五山僧が読んだ黄庭堅集

――万里集九「帳中香」を手がかりに：緑川 英樹

#### 第四部

国際関係史

「宋西北辺境軍政文書」と宋代の軍事体制：伊藤 一馬

「中興礼書」から見た高宗帝祭使関連儀礼の諸相：毛利 英介

宋・東南アジア地域の関係史：遠藤 総史

「コラム」薩摩塔から見た日中交流：高津 孝

予価定価 3,520 円(本体 3,200 円)  
A5判・並製カバー装  
カラー口絵8頁+272頁  
ISBN978-4-585-32523-9 C1322  
2022年11月刊行

書名	部数
<b>宋代とは何か</b> 【アジア遊学277】 <b>最前線の研究が描き出す新たな歴史像</b> 平田茂樹・山口智哉・小林隆道・梅村尚樹 [編]	予価定価 3,520 円(本体 3,200 円) A5判・並製カバー装 カラー口絵8頁+272頁 ISBN978-4-585-32523-9 C1322 2022年11月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

# 館隆志

(たち・りゅうし)一九七六年生まれ、駒澤大学専任講師、曹洞宗龍音寺住職、駒澤大学禅研究所研究員、花園大学国際禅学研究所客員研究員、東洋大  
学東洋学研究所客員研究員、著書に、『園城寺公胤の研究』(春秋社、二〇一〇年)、『蘭溪道隆禅師全集』第一巻「蘭溪和尚語録」(共編、思文閣出版、大  
山建長寺、二〇一四年)、『禅宗入門』(共著、別冊太陽239、平凡社、二〇一六年)、『中世禅の知』(共著、臨川書店、二〇二一年)など多数。

# 鎌倉時代禅僧喫茶史料集成

## 禅僧たちの記録からよみがえる 鎌倉時代の喫茶文化

茶の文化は禅と深く関わるものであり、近年はその価値への世界的評価の高まりとともに、研究も盛んになっている。

なかでも茶を日本に伝えた栄西をはじめ、鎌倉時代の禅僧たちの史料は、禅と茶を語る上で避けては通れない。

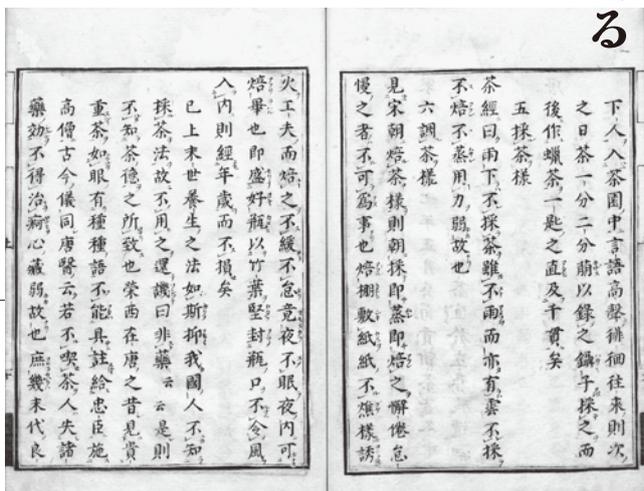
しかし、禅僧による史料は膨大であり、かつ難解なものも多く、これまで体系的な研究がなされてこなかった。

鎌倉時代の禅僧の史料を博搜し、喫茶史料を抽出、書き下し・現代語訳および訳注、解説を付す。

禅と茶の研究に新たな視座を提供する決定版史料集。

### 本書の 特色

- ・鎌倉時代の禅僧の喫茶史料を収集して、難解な史料に対して読解と研究の手掛かりを提示。
- ・書き下しを行ない、できる限り語注を付け読解に資するように詳細な注記を付した。
- ・訳文を付けているので、研究者のみならず、鎌倉時代の禅と茶の関係を知りたいと思う人にも読むことができるものとなっている。
- ・収集した史料を、禅僧の寂年を基本として順に配することで、鎌倉時代の禅と茶の歴史をたどることができるようにつまみ試みている。



### 喫茶養生記

(国立公文書館所蔵)  
建仁寺開山栄西によつて著された日本最古の茶書。

定価一四、八五〇円(税込)

(本体一三、五〇〇円)

A5判上製カバー装 七八四頁

二〇二三年二月刊行

ISBN978-4-585-31014-3 C3014

### 史料収集の 対象とした 禅僧

- 1 栄西(一一四一～一一五五)
- 2 道元(一一〇〇～一一五三)
- 3 蘭溪道隆(一一二三～一一七八)
- 4 月峰了然(生没年不詳)
- 5 兀庵普寧(一一九八～一二七六)
- 6 円爾(一一〇二～一一八〇)
- 7 無学祖元(一一二六～一一八六)
- 8 大休正念(一一二五～一一八九)
- 9 東山湛照(一一三三～一一九二)
- 10 白雲慧暁(一一二九)
- 11 寒巖義尹(一一二七～一一三〇)
- 12 山叟慧雲(一一二七～一一三〇)
- 13 無象静照(一一三四～一一〇六)
- 14 鏡堂覚円(一一四四～一一〇六)
- 15 南浦紹明(一一三五～一一〇八)
- 16 詮慧(生没年不詳)・経豪(生没年不詳)
- 17 徹通義介(一一二九～一一三〇)
- 18 無住道暁(一一二七～一一二二)
- 19 規庵祖円(一一二六～一一三三)
- 20 高峰頭日(一一四一～一一二六)
- 21 奇山円然(一一三二)
- 22 一山一寧(一一四七～一一二七)
- 23 約翁徳俊(一一四四～一一三〇)
- 24 秋澗道泉(一一六三～一一三三)
- 25 瑠山紹瑾(一一六四～一一三五)
- 26 鉄庵道生(一一二六～一一三二)
- 27 元翁本元(一一二八～一一三三)

書名

## 鎌倉時代禅僧喫茶史料集成

館隆志(著)

定価14,850円・本体13,500円

A5判上製カバー装・784頁  
2023年2月刊行  
ISBN978-4-585-31014-3 C3014

冊数

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

# 列島の中世地下文書

じげもんじよ

諏訪・四国山地・肥後

アジア遊学 282

春田直紀 [編]

[目次]

序論・中世地下文書の階層性と地域性：春田直紀

## 第一部 ● 諏訪

諏訪上社社家の文書群と写本作成：村石正行

大祝家文書・矢島家文書：岩永紘和

守矢家文書：金澤木綿

守矢家文書における鎌倉幕府発給文書

—— 原本調査による正文の検証：佐藤雄基

戦国期諏訪社の祭祀・造宮と先例管理

—— 大名権力と地下文書の融合：湯浅治久

## 第二部 ● 四国山地

四国山地の中世地下文書

—— 記載地名の分布と現地比定：楠瀬慶太

「柳瀬家文書」の成立過程：村上絢一

土佐国大忍荘の南朝年号文書

—— 「行宗文書」正平十一年出雲守時奉書を中心に：荒田雄市

菅生家文書—— 阿波国に伝わった南朝年号文書：池松直樹

南朝年号文書研究の新視点—— 「後南朝文書」との比較から：呉座勇一

中世阿波の金石文から地下文書論を考える：菊地大樹

## 第三部 ● 肥後

肥後の地下文書—— 肥後国中部を中心に：廣田浩治

中世肥後の大百姓文書—— 舛田文書と小早川文書：春田直紀

「免田文書」の基礎的考察：小川弘和

人吉盆地の地下文書と景観復元—— 免田文書と段丘・洪水・棚田：似鳥雄一

「野原八幡宮祭事簿」について：柳田快明

地域史料としての画像銘文

—— 熊本市・立福寺跡観音堂の

大永二年銘千手観音菩薩立像をめぐる：有木芳隆

重なり、広がり、

つながる文書群

中世の地域社会(地下)で生成され機能した「地下文書」。

東国諏訪の社家、四国山地の名主、

九州肥後の大百姓・殿原など

地域も伝来主体も異なる文書群を検討するなかで、

中世地下文書の多様性を列島規模で把握しつつ、

文書群がタテ・ヨコの関係で集積され

伝来していった様相を原本調査の

成果をふまえて描き出す。

さらに、金石文や画像銘文といった

紙以外の文字史料も

地下の観点から再検討し、

地下文書論の地平を広げる。

## 【編者紹介】

春田直紀 (はるた・なおき)

熊本大学大学院人文社会科学部教授。専門は日本中世史(生業論・史料論)。

主な著書に『日英中世史料論』(編著、日本経済評論社、二〇〇八年)、『中世地下文書の世界—— 史料論のフロンティア』(編著、勉誠出版、二〇一七年)、『日本中世生業史論』(岩波書店、二〇一八年)などがある。



定価 二,二〇〇円(税込)  
本体 三,〇〇〇円

A5判並製カバー装・二七二頁  
二〇二三年五月刊行  
ISBN978-4-585-32528-4 C1321

書名	部数
列島の中世地下文書 [アジア遊学 282] 諏訪・四国山地・肥後 春田直紀 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	

定価 3,300円(税込)・本体3,000円  
A5判並製カバー装・272頁  
2023年5月刊行  
ISBN978-4-585-32528-4 C1321

# 近世日本のキリシタンと異文化交流

(仮)

アジア遊学

## 大橋幸泰 [編]

十六世紀に日本にもたらされた

キリスト教とヨーロッパの文化・思想は、

既存の文化や思想に

どのようなインパクトをもたらしたのか。

日本のキリシタン禁制はどのように始まり、

どのように終わったのか。

中国や朝鮮、東南アジアの布教は

どのように展開し、日本布教とどう関わったのか。

東アジア世界におけるキリシタンをめぐる

異文化の融合と摩擦の問題を、

内外の一次史料を用いて

日本史・東洋史・西洋史・科学史・思想史・

言語学の各方面から検討し、

中世末期から近世期の

新たな時代像の構築を目指す。

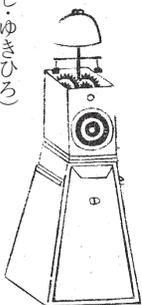
### 【編者紹介】

**大橋幸泰** (おおはし ゆきひろ)

早稲田大学教育・総合科学学術院教授。専門は日本近世史。

主な著書に『潜伏キリシタン 江戸時代の禁教政策と民衆』講談社、二〇一四年、講談社学術文庫に

二〇一九年再刊、論文に「近世日本の民衆史研究―民衆運動・政治思想・身分認識をめぐる議論から属性論の射程を展望する」(『民衆史研究』二〇二二、二〇二三年)などがある。



### 自鳴鐘

どけい

【和漢三才図会】  
国文学研究資料館蔵  
CC BY-SA 4.0

### 【目次】

序言・近世日本のキリシタンと異文化交流：大橋幸泰

#### 第一部 ● キリシタンの文化と思想

キリシタンと時計伝来：平岡隆二

信徒国字文書のキリシタン用語

「ばすてる」(羊飼)を起点として：岸本恵実

日本のキリスト教迫害下における「偽装」理論の神学的源泉：折井善果

#### 第二部 ● 日本を取り巻くキリシタン世界

布教保護権から布教聖省へ

―バチカンの日本司教増置計画をめぐる(仮)：木崎孝嘉

ランサーン王国に至る布教の道

―イエズス会日本管区による東南アジア事業的一幕：阿久根晋

パリ外国宣教会によるキリシタン「発見」の予見

―中国・朝鮮・ベトナムにおける日本再宣教への布石(仮)：牧野元紀

#### 第三部 ● キリシタン禁制の起点と終点

最初の禁教令―永禄八年正親町天皇の京都追放令をめぐる(仮)：清水有子

潜伏キリシタンの明治維新：大橋幸泰

長崎地方におけるカトリック信徒・非カトリック信徒関係の諸相

―日本習俗に関するロケイニユ師の手記(一八八〇年頃)

を中心に：マルタン・ノゲラ・ラモス

#### 第四部 ● 関連史料の紹介

「キリシタンと時計伝来」関連史料：平岡隆二

南欧文書館に眠るセバステイアン・ヴィエイラ関係文書

―所蔵の整理とプロクラドル研究の展望：木崎孝嘉



【フィリピン諸島の征服】  
第二部 稿本標題紙

予価二一、〇八〇円(税込)  
本体二八、〇〇円

A5判並製カバー装・二五八頁予定  
二〇二三年七月刊行予定

書名	部数
<b>近世日本のキリシタンと異文化交流</b> 【アジア遊学】 大橋幸泰 [編]	予価3,080円(税込)・本体2,800円 A5判並製カバー装・256頁予定 2023年7月刊行予定
ご送付先ご住所(通信欄)	

岡雅彦・落合博志・桑名法晃・長田和也・中前正志・那須陽一郎・原雅子・村木敬子〔編〕

# 深草瑞光寺所蔵

# 元政上人資料集

## 近世京洛寺院の学問とネットワーク

17世紀を代表する文人僧として日本文化史に巨大な足跡を遺した深草元政上人（一六二三～一六六八）。その遺業は中世から近世に至る移行期の日本文化の実態を解明する上で詳細に分析されるべきものである。京都市伏見区深草の元政庵瑞光寺にのみ所蔵される元政上人自筆資料を中心に、彼を取り巻く文人たちの写本資料も併せて翻刻紹介。江戸時代の文化・歴史研究のみならず中世文学や日本仏教学とも繋がりを持つ、膨大な新出資料集として日本研究に幅広く資する貴重資料集。

### \* 深草元政上人（一六二三～一六六八）

江戸時代前期の日蓮宗の僧。武士の子として京に生まれ、彦根藩士となるも生来病弱のため26歳で致仕出家、その後、深草に庵を結び、46歳で遷化するまでの歳月を、祖師日蓮上人と法華経の教えに従い、戒律を守りひたむきな仏道修業に生きたとして知られている。幼少のころより古典を愛し、文学の人としても著名。松永貞徳や熊沢蕃山、北村季吟、石川丈山など様々な分野の人びとと交友関係を有し、その多岐にわたる著作は多くが出版され、広く読者を得た。主要著作に『龍華歴代師承伝』『本朝法華伝』『釈氏二十四孝』『扶桑隱逸伝』『身延道の記』『温泉遊草』『温泉再遊』『元元唱和集』『聖凡唱和』『草山和歌集』などがある。

### 目次

- カラー口絵
- 序文
- 目次
- 概説・凡例

### 編者略歴

- 岡雅彦**（おか・まさひこ）国文学研究資料館名誉教授。専門は江戸文学（咄本・言語遊戯・休俗伝など）、書誌学研究。
- 落合博志**（おちあい・ひろし）国文学研究資料館教授。専門は日本中世文学・中世芸能、日本古典籍書誌学。
- 桑名法晃**（くわな・ほうこう）身延山大学講師。専門は日蓮教学を中心とした日本仏教学研究。
- 長田和也**（ながた・かずや）五島美術館大東急記念文庫学芸員。専門は日本近世文学（洒落本など）。
- 中前正志**（なかもえ・まさし）京都女子大学教授。専門は霊験譚や縁起譚を中心とする日本仏教説話の生態に関する研究。
- 那須陽一郎**（なす・よういちろう）麻布大学附属高等学校非常勤講師。専門は中世文学の注釈書を中心とした書誌学的研究。
- 原雅子**（はら・まさこ）千里金蘭大学名誉教授。専門は上代から近世までの和歌・文学の古典注釈通史から賀茂真淵を核に国文学研究。禅哲研究。
- 村木敬子**（むらき・けいこ）五島美術館大東急記念文庫学芸課長。専門は古典籍書誌学を援用した日本文化研究。

定価 **22,000** 円  
 本体 20,000 円

---

B5判・上製カバー装・638頁  
 ISBN978-4-585-31013-6 C3015  
 2023年3月刊行

書名	部数
深草瑞光寺所蔵 <b>元政上人資料集</b> 近世京洛寺院の学問とネットワーク 岡雅彦〔他編〕	定価 <b>22,000</b> 円 (本体価格 20,000 円) B5判・上製カバー装・638頁 2023年3月刊行 ISBN978-4-585-31013-6 C3015
ご送付先ご住所（通信欄）	

岡雅彦 編

国文学研究資料館名誉教授。専門は江戸文学（咄本・言語遊戯・一休俗伝など）、書誌学研究。著書に『一休ばなし』とんち小僧の来歴（平凡社、一九九五年）、『日本古典籍書誌学辞典』（共編、岩波書店、一九九九年）、『江戸時代初期出版年表』（共編、勉誠出版、二〇一一年）、論文に『古活字版曾我物語の絵組みについて』（『かがみ』32・33合併号、一九九八年）などがある。

# 江戸時代前期出版年表

## 〔万治元年～貞享五年〕

定価 二五、二〇〇円（税込）  
（本体三三、〇〇〇円）  
B5判上製函入・一二二〇頁  
二分冊・分売不可  
二〇一三年三月刊行  
ISBN978-4-585-32029-6 C3021

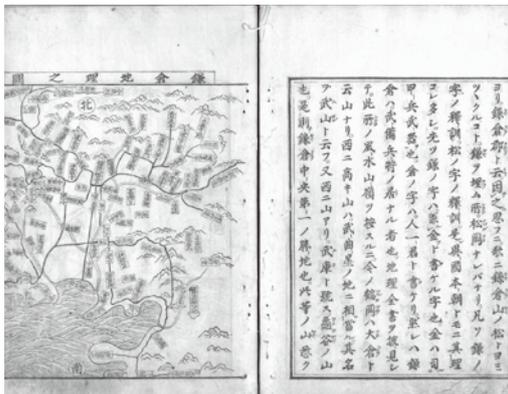
## 出版文化の華開いた江戸時代前期

### 万治元年（一六五八）から貞享五年（一六八八）に刊行された出版物の総合年表。

どのような本が刷られ、読まれていたのか。江戸文化を記憶し、今に伝える

刊記情報を網羅掲載！

文学・歴史・出版史・書誌学・図書館学の研究者、図書館必備の一冊。



### ◆ 本書の特長

- ・万治元年（一六五八）から貞享五年（一六八八）に刊行された八千七〇〇点超の書物を掲載。
- ・刊記を有するものはその全文を掲載した。
- ・掲載書物は、基本的に編者による実見を旨とし、十分な先行研究によって確認できる書籍や、所蔵元不明で実見が適わない書籍はそれを明示のうえ掲載した。
- ・刊行された年月順に構成。刊行年月は、主として行本の刊記に基づいた。
- ・各書物について、「書名」「著者」「刊記」「所蔵」の項を設けた。
- ・巻頭に口絵を掲載。貴重な書籍図版を収録。利便性を考慮し、「書名」および「版元名」索引を附した。
- ・本書は『江戸時代初期出版年表』（二〇一一年刊）の続巻となり、これら二冊を通じて出版文化の黎明期である約一〇〇年間の文化の様相を俯瞰できる。

書名	冊数
江戸時代前期出版年表 〔万治元年～貞享五年〕 岡雅彦 編	冊
定価 35,200円・本体32,000円 B5判上製函入・1120頁（二分冊・分売不可） 2023年3月刊行 ISBN978-4-585-32029-6 C3021	
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX 03-5215-9025

# 江戸時代の貸本屋

## 庶民の読書熱、馬琴の創作を支えた書物流通の拠点

長友千代治〔著〕

江戸時代には書物を読むことのできる人びとが庶民にまで広がった。

その読書熱を支えた書物流通の拠点が貸本屋である。読者の興味をそそり、見たことのない世界や

名所旧跡へ連れ出す書物、

隠された秘密や真相を解き明かす書物、

便利性に満ちた生活実用書――

これらをすぐに調べて手元に届けるのが貸本屋であった。

また、読書熱の高まり、

さまざまなジャンルにわたる出版文化の広がり、

近世における創作の場においても、大きな影響を与えた。

特にその浩瀚な知識を自らの作品に注ぎ込んできた

近世を代表する作家・曲亭馬琴の日記には、

近世知識人と書物の関係をまざまざと伝える、

特筆すべき内容がふんだんに含まれている。

長年にわたり諸資料を博搜してきた筆者が、

江戸時代の貸本屋の展開、そして、書物と人びととの

かかわりの諸相を描き出す書籍文化史論。

はしがき

第一部 本のある風景

第二部 近世貸本屋の展開

一 貸本屋研究の意義 ●二 四民の読書熱 ●三 貸本屋の仕事

四 法制と貸本屋 ●五 作者・板元・貸本屋

六 読物流行の変遷と貸本屋 ●七 貸本屋と読者 ●まとめ

第三部 馬琴の書物探索と貸本領域

一 馬琴の書物愛 ●二 知識人との書物貸借

三 馬琴作品の愛読者たち ●四 馬琴と貸本屋

五 馬琴の本屋探書 ●六 馬琴の写本製作

七 馬琴の潤筆料と生活 ●八 愛蔵書の売却

九 馬琴の疾病 ●十 わが庭は花盛りなれど…… ●まとめ

あとがき

著者プロフィール

長友千代治 (ながともちよじ)

昭和十一年生まれ。大阪府立図書館司書、愛知県立大学・京都府立大学・佛教大学教授を歴任。著書に、『近世貸本屋の研究』(昭和五十七年)、『近世上方作家・書肆研究』(平成六年)、『江戸時代の書物と読書』(平成十三年)。以上東京堂出版)、『江戸時代の図書流通』(思文閣出版、平成十四年)、『江戸庶民の読書と学び』(勉誠出版、平成十九年)、『江戸庶民のまじない集覧』(勉誠出版、令和二年)など。編書に『江戸時代生活文化事典』(勉誠出版、平成三十年)など。



書名	部数
江戸時代の貸本屋 庶民の読書熱、馬琴の創作を支えた書物流通の拠点 長友千代治〔著〕	部
定価5,500円(本体価格5,000円) A5判・上製カバー装・336頁 2023年5月刊行 ISBN978-4-585-39029-9 C3095	
ご送付先ご住所(通信欄)	

# 明治・大正・昭和の 時代劇メディアと 時代考証

大石学・時代考証学会〔編〕

東京学芸大学  
名誉教授

多くの記録が残され、

我々の身近な人々が生きていた明治・大正・昭和。

現在に近い時代を考証する困難性はどこにあるのか。

そして、史実に沿うノンフィクションにおいても

時代考証が求められるのはなぜか。

近現代史とノンフィクションにおける

考証実務や作品の考察から、

虚構と現実の間を埋めるといふ重要な役割を持つ

「時代考証」がもつ可能性の広がりを考える。

編者プロフィール

大石学（おおいし・まなぶ）

東京学芸大学名誉教授、日本芸術文化振興会監事、時代考証学会会長。

〔業績〕NHK大河ドラマ『新選組』『篤姫』『龍馬伝』『八重の桜』『花燃ゆ』『西郷どん』、映画『大奥』『るろうに剣心』『沈黙』『アニメ』

『REVENGER』（リベンジャー）、映画『THE LEGEND & BUTTERFLY』など数多くの作品において時代考証を担当。〔著作等〕『時代劇の見方・楽しみ方』

『時代考証とリアリズム』（吉川弘文館、二〇二三年）、『新しい江戸時代が見えてくる——「平和」と「文明化」の265年』（吉川弘文館、二〇一四年）、今

に息づく江戸時代——首都官僚教育』（吉川弘文館、二〇二二年）など多数。

## 巻頭言

近現代時代劇・時代考証の歴史的前提

序論 時代考証にとって現実とはなにか ●大石学  
●鈴木一史

## 第1部 明治・大正・昭和を考証する

1 近現代を描いた時代劇メディアと歴史学 ●花岡敬太郎

2 NHKドラマ『負けて、勝つ』戦後を創った男・吉田茂と  
『白洲次郎』などを考証して ●小田部雄次

3 時代考証はアイデアの宝庫

——近現代ドラマ制作現場からの報告 ●安達もじり

シンポジウム「明治・大正・昭和を考証する——時代考証の現場から」

趣旨説明 ●鈴木一史

パネルディスカッション ●花岡敬太郎／小田部雄次／安達もじり

司会 ●門松秀樹

## 第2部 ノンフィクションを考証する

1 歴史教養番組の構造と変遷 ●神谷大介

2 シナリオ論証を通じて ●落合弘樹

3 歴史番組の「歴史」——制作者の視点から ●谷口雅一  
シンポジウム「時代考証学とノンフィクション」

趣旨説明 ●神谷大介

パネルディスカッション ●神谷大介／落合弘樹／谷口雅一／司会 ●鈴木一史

コラム ●記憶をめぐる時代考証

——時代考証学会第七回シンポジウムのアンケート回答から ●神谷大介  
——時代考証学会第八回シンポジウムのアンケート回答から ●中野良

## 第3部 考証の枠を拡げる

1 時代劇の枠を拡げる——近現代を描いた時代劇メディア ●三野行徳

2 近代を考証する——「足尾から来た女」での経験から ●石居人也

3 戦争を考証する ●加藤聖文

4 戦争を描いた時代劇メディアと歴史学

——『スペシャルドラマ 坂の上の雲』の検証 ●山田朗

5 『西郷どん』の軍装・洋装考証 ●刑部若則

6 ビデオ機器、時間、世界観

——NHK大河ドラマ『花神』（一九七七年）と地域性 ●羽鳥隆英

あとがき ●時代考証学会編集担当 鈴木一史・神谷大介

定価 3,520円(税込)  
本体価格3,200円

A5判・並製カバー装・416頁  
ISBN978-4-585-32025-8 C0021  
2023年1月刊行

書名	部数
明治・大正・昭和の 時代劇メディアと時代考証 大石学・時代考証学会〔編〕	部
定価3,520円(本体価格3,200円) A5判・並製カバー装・416頁 2023年1月刊行 ISBN978-4-585-32025-8 C0021	部
ご送付先ご住所（通信欄）	



# 明治日本の産業革命遺産

Heritage of the Industrial Revolution in Meiji Era

## 日本と世界をつなぐ世界遺産

岩下哲典・藤村泰夫 〈編〉

### 世界遺産の見どころを徹底解説！

2015年に世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」。8エリア23資産の歴史・概要を時系列で写真とともに解説する充実の一冊。現地を歩くためのガイドブックとしても最適。

#### ◎目次

カラー口絵 明治日本の産業革命遺産 8つのエリアと23構成資産  
はじめに 幕末の対外的危機感と情報活動が生んだ世界遺産 ■岩下哲典  
総説 サムライ・スピリットの世界遺産 ■岩下哲典

明治日本の産業革命遺産の見どころ

- ・【岩手県】：橋野鉄鉱山・高炉跡 ■今野日出晴
- ・【静岡県】：韮山反射炉 ■桜井祥行
- ・【山口県】：萩城下町／萩反射炉／恵美須ヶ鼻造船所跡／大板山たたら製鉄遺跡／松下村塾 ■道迫真吾
- ・【鹿児島県】：旧集成館／寺山炭窯跡／関吉の疎水溝 ■吉満庄司
- ・【佐賀県】：三重津海軍所跡 ■藤井祐介
- ・【長崎県】：旧グラバー住宅／小菅修船場跡／高島炭鉱／端島炭鉱／三菱長崎造船所旧木型場／三菱長崎造船所占勝閣／三菱長崎造船所第三船渠／三菱長崎造船所ジャイアント・カンチレバークレーン ■新木武志
- ・エリア特論「三菱と長崎の近現代史」 ■新木武志
- ・【福岡県・熊本県】：三池炭鉱・三池港／三角西港 ■山田雄三
- ・【福岡県】：官営八幡製鐵所／遠賀川水源地ポンプ室 ■神野晋作

もっと深く知るために——広げる！感じる！世界遺産!! ■祐岡武志

日本と世界の産業遺産関連年表 ■作成：塚越俊志  
あとがき ■藤村泰夫

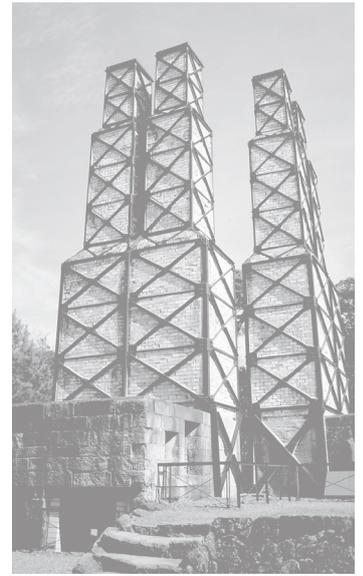
#### ◎執筆者紹介

岩下哲典(いわした・てつり)

東洋大学文学部史学科・大学院文学研究科史学専攻教授。  
専門は日本近世・近代史。  
著書に『江戸無血開城 本当の功労者は誰か?』(吉川弘文館、2018年)、  
編著に『地域から考える世界史——日本と世界を結ぶ』(勉誠出版、2017年)  
などがある。

藤村泰夫(ふじむら・やすお)

山口県立西京高等学校教諭。専門は西洋史。  
著書に『世界史の授業デザイン』(共著、明治図書、2013年)、  
編著に『地域から考える世界史——日本と世界を結ぶ』(勉誠出版、2017年)  
などがある。



#### ◎本書の特色

- ・巻頭に現在の世界資産の姿を撮影したカラー写真を掲載。
- ・最適な執筆陣が各資産の歴史や見どころ、世界遺産としての価値、歴史教育や生涯学習の取り組みをやさしく解説。日本のモノづくりの原点、近代化を成し遂げたサムライ・スピリットを知ることが出来る。
- ・各資産の紹介ページには、地図(QRコードを掲載)、開館時間・休館日などをまとめた「基本情報」を掲載。
- ・巻末に日本と世界の産業遺産を比較してみる事ができる関連年表を完備。

定価 2,640円(本体2,400円)  
四六判・並製カバー装  
カラー口絵16頁+本文248頁  
ISBN 978-4-585-32023-4 C0021  
2022年12月刊行

書名	部数
見る・知る・考える 明治日本の産業革命遺産 日本と世界をつなぐ世界遺産 岩下哲典・藤村泰夫〈編〉	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

定価 2,640円(本体価格2,400円)  
四六判・並製カバー装  
カラー口絵16頁+本文248頁  
2022年12月刊行  
ISBN978-4-585-32023-4 C0021

# 日ソ戦争史の研究

Studies on the History of the Soviet-Japanese War

## 日ソ戦争史研究会 [編]

### 日本帝国の崩壊過程におけるソ連要因を 実証的に明らかにする新視点

第二次世界大戦末期の1945年8月、日本とソ連との戦争は勃発した。

日ソ戦は短期間のものではあったが、戦後の東アジア国際関係に大きな影響を及ぼした。

シベリア抑留や北方領土問題など戦後処理が長期にわたり、

戦後日本史を考えるうえでも重要な構成要素となっている。

それにもかかわらず、日ソ戦争は、日本の歴史学界においてこれまでほとんど注目されておらず、

日本近現代史の通史のなかでもふれるものは少なかった。

本書では、日本史、ロシア史、中国史、モンゴル史、現代政治におよぶ多面的考察により、

日ソ戦争史の全体像、そして、北東アジア規模のグローバル・ヒストリーとしての日ソ戦争の位置づけを明らかにし、

今後の現代史研究の礎を提供する。



## 目次

はじめに——白木沢旭児

### 第1部 日ソ戦争の全体像

第1章 日ソ戦争・抑留はどうか研究されてきたか——回顧と展望 ■富田武

第2章 日ソ戦争概観 ■花田智之

第3章 アリュージョン・千島列島をめぐる  
第二次大戦期の日米露関係 ■浅野豊美

第4章 外交課題としての日本人抑留・引揚問題  
——日本国内の「圧力団体」の作用と北方領土問題との連動 ■湯浅剛

### 第2部 中国・朝鮮

第1章 日ソ戦争期の中国東北地域の鉄道輸送 ■三木理史

第2章 ソ連軍進攻前後の中国東北地域——賓県を事例に ■小都晶子

第3章 満洲における関東軍と兵士 ■白木沢旭児

第4章 日ソ戦争と満洲国軍  
——江防艦隊・江上軍とアムール小艦隊の角逐 ■及川琢英

第5章 ソ連軍の満洲進攻と関東軍の解体  
——残留日本人保護をめぐる ■加藤聖文

第6章 日ソ戦争と朝鮮北部日本人社会 ■内藤隆夫

### 第3部 極東ロシア・モンゴル

第1章 1930年代ソ連極東部の国境管理体制と強制移住 ■宍内勇津流

第2章 アメリカの対日戦争とソ連  
——米軍パイロット問題をめぐって ■ヤロスラフ・シュラフ

第3章 女性たちのシベリア抑留 ■生田美智子

第4章 蒙疆における日ソ戦  
——張家口・丸一陣地をめぐる駐蒙軍とソ連モンゴル連合軍  
■田淵陽子

第5章 モンゴルにおける日本人抑留とその後 ■荒井幸康

### 第4部 樺太・千島

第1章 日ソ戦争樺太戦——八方山＝ハラミトーギのソ連兵 ■天野尚樹

樺太国民義勇戦闘隊——国民皆兵の歪みと余波 ■井澗裕

第2章 ソ連による占領統治下の千島社会 ■黒岩幸子

第3章 戦後初期の日本における満洲引揚者像と樺太住民の引揚  
■ジョナサン・ブル(白木沢旭児・宍内勇津流 訳)

第4章 日ソ戦後のサハリン残留日本人問題  
——ソ連地域未帰還者問題の中の樺太旧住民 ■中山大将

あとがき ■富田武

執筆者紹介

索引

## 執筆者紹介

### 白木沢旭児(しらきざわ・あさひこ)(編集代表)

北海道大学大学院文学研究院教授。専門は日本近現代史。

著書に『大恐慌期日本の通商問題』(御茶の水書房、1999年)、『日中戦争と大陸経済建設』(吉川弘文館、2016年)、『北東アジアにおける帝国と地域社会』(編著、北海道大学出版会、2017年)などがある。

定価 13,200円

(本体価格 12,000円)

A5判上製・カバー装・512頁  
ISBN978-4-585-32026-5 C3020  
2023年2月刊行

書名	部数
日ソ戦争史の研究 日ソ戦争史研究会 [編]	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

定価 13,200円(本体価格12,000円)

A5判上製・カバー装・512頁

2023年2月刊行

ISBN978-4-585-32026-5 C3020

# グレーゾーンと帝国

## 歴史修正主義を乗り越える生の営み

高綱博文・門間卓也・関智英〈編〉

日本大学名誉教授。専門は中国近現代史、日中間係史、上海史。

日本学術振興会特別研究員PD。専門はユーゴスラヴィア史。

津田塾大学学芸学部准教授。専門は中国近現代史。

定価 5,720円 [本体5,200円]

A5判並製カバー装・536頁  
2023年3月刊行

ISBN978-4-585-32027-2 C3022

### 「抵抗」と「協力」のはざままで揺れる人々 戦時下の欧亜を照射する、比較歴史学の挑戦

〈加害／被害〉の二分法で捉えられない人びとの姿を「グレーゾーン(灰色の領域)」と呼んだアウシュヴィッツの生存者である作家ブリーモ・レーヴィ。その思想に触発され、第二次大戦期の日独「帝国」下に現れた統治空間を新視角から注目し、「協力者」の実像解明に取り組む歴史学の新たな潮流。戦時社会を基底から問い直すことで、意図的な歴史の忘却と「修正」に対峙する、西洋史と東洋史の垣根を超えた共同研究の成果。

#### 目次

はじめに 編者一同

#### 第1部 「グレーゾーン」のパラダイム——概念と方法

第1章 「グレーゾーン」概念の諸系譜…高綱博文

第2章 ブリーモ・レーヴィの「グレーゾーン」について——歴史研究における概念化に向けて…新谷崇

第3章 ナチ体制下でのユダヤ人協力者をめぐって——ブリーモ・レーヴィの「グレーゾーン」を中心に…猪狩弘美

第4章 日本占領下上海文化の「グレーゾーン」をどう考えるか…鈴木将久

#### 第2部 大戦期欧州における対独協力とグレーゾーンの諸相 ——国民国家の崩壊と新たな政治空間の出現

まえがき 門間卓也

第5章 ナチ占領下フランスのグレーゾーン——ムニエとミッテラン…渡辺和行

コラム コラボレーションの中のグレーゾーン——「反独コラボ」シャルル・モラス…南祐三

第6章 第二次世界大戦期におけるリトアニア人行動主義戦線(LAF)の対独協力…重松尚

第7章 「クロアチア独立国」に囚われたウスタシャの知識人たち…門間卓也

コラム 無関係の領域としてのグレーゾーン——ワルシャワ・ゲットーを境界とする二つの世界…宮崎悠

#### 第3部 帝国日本の占領と中国・東南アジアのグレーゾーン——既存秩序の動揺と変化

まえがき 関智英

第8章 日中友好の「グレーゾーン」——戦時下の内山完造…高綱博文

第9章 上海文壇から見る「グレーゾーン」——日本占領下における楊之華の文学活動…山口早苗

コラム 「和平建国」の夢のあとさき——グレーゾーンのなかの汪精衛政権…堀井弘一郎

第10章 中国青年党対日協力——日中戦争下のグレーゾーン…関智英

コラム バモオ小伝——「独立」ビルマを担ったアディパティ(国家代表)…武島良成

コラム 日本占領下フィリピン社会の忘れられた「未完の革命」運動…荒哲

おわりに…門間卓也

年表・執筆者一覧

ブリーモ・レーヴィ  
wikimedia commons

書名

# グレーゾーンと帝国

高綱博文・門間卓也・関智英〈編〉

冊数

定価 5,720円・本体5,200円

A5判並製カバー装・536頁

2023年3月刊行

ISBN978-4-585-32027-2 C3022

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 <http://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

陰陽道史研究の会 [編]

アジア遊学 278

# 呪術と学術の東アジア

## 陰陽道研究の継承と展望

### 目次

はじめに 陰陽道史研究の会

【序論】陰陽道研究の展望

——その性格と概念をめぐって……山下克明

【総論】中世仮名暦と『靈籙内伝』……山下克明

### I 呪術としての陰陽道

陰陽道の呪術と民俗信仰との繋がり

——まじない呪盤書をもとに……松山由布子

『靈籙内伝』と祇園社——その関係性について再考する……鈴木耕太郎

五山文学にみる賀茂氏と泰山府君……野口飛香留

中世における陰陽道祭祀の展開

——雷公祭・風伯祭を事例に……赤澤春彦

陰陽道の神々と呪術——変貌する「土公神」をもとめて……斎藤英喜

【コラム】備後地方の晴明伝説と「未裔」たち……木下琢啓

【コラム】和泉地方のまじない資料と信仰……細田慈人

【コラム】いざなぎ流・病人祈禱の呪術……梅野光興

### II 学術としての陰陽道

陰陽師による天文道・暦道の兼帯について……細井浩志

平安時代の陰陽師説話

——『今昔物語集』の晴明のまじないの前後……中島和歌子

近世前期の占いの「学術」の側面

——『靈籙』の解説書を中心に……マティアス・ハイエク

江戸時代の陰陽道認識と陰陽師——呪術書と重宝記……梅田千尋

【コラム】古代の東国における陰陽師……山口えり

【コラム】中世日本の陰陽道と地震……濱野未来

【コラム】「相地」における知の更新

——四神相応言説を通して……中村航太郎

【コラム】暦注の「正しき」をめぐって……馬場真理子

——『靈籙内伝』へのまなざし……

【コラム】日蝕予報と曆家……吉田拓矢

【コラム】近世の反閉儀礼……詫間直樹

### III 東アジアという視点

「東アジアという視点」から考える陰陽道……水口幹記

唐の李淳風の「乙巳占」……田中良明

『礼緯含文嘉』の諸伝本と近世における天文五行占書の流布……佐々木聡

中国現存最古の伝世日書「彈冠必用集」について……大野裕司

陰陽道の独自性と東アジア性

——「陰陽師」と「陰陽生」の比較を中心として……張麗山

【コラム】「歩天歌」と中国・朝鮮・日本……高橋あやの



定価 3,300 円(本体 3,000 円)  
A5判・並製カバー装・272頁  
ISBN978-4-585-32524-6 C1314  
2022年12月刊行

書名	部数
呪術と学術の東アジア 【アジア遊学 278】 陰陽道研究の継承と展望 陰陽道史研究の会 [編]	定価 3,300 円(本体 3,000 円) A5判・並製カバー装・272頁 ISBN978-4-585-32524-6 C1314 2022年12月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

伊藤聡・斎藤英喜 [編]

アジア遊学 281

# 神道の近代

## アクチュアリティを問う

中世から近代までを架橋し、新たな学知の可能性を探る

現代に息づく神道。

それは政治性や民族性などどのように結びついて展開してきたのか。中世・近世神道と、近代神道はどう違うのか。

国家と神道との繋がり、神社神道と、国体や国民道徳論との関係、霊学・異端神道など神道系新宗教の宗教史的意義、

学者や知識人による学問としての神道の在り方など多角的に考察。

古代の神祇信仰、中世神道、近世国学の研究視角から近代の神道をめぐる諸課題について問い直す。

従来のイデオロギー的な国家神道論や護教的な神道研究を超えて、神道の多元的で複雑な構造を明らかにした画期的成果。

### 目次

「はじめに」神道の近代——あらたな知の可能性へ……伊藤聡・斎藤英喜

#### I 近代の国家と天皇祭祀・神社

「勅祭社」靖国神社——招魂とその祭神への変換……岩田重則

神武天皇説話の近代におけるその発見と変容

——美々津出航伝承とおきよ丸……及川智早

「コラム」近代神社の「巫女」をめぐる……小平美香

#### II 国体神学と国民道徳論

戦前日本における神社の社会的イメージの形成過程

——明治末・小学校校長永迫藤一郎の神社革新論をてがかりに……畔上直樹

国体明徴運動と今泉定助……昆野伸幸

日常生活から国家の秩序へ——寛克彦の「古神道」神ながらの道……西田彰一

植民地朝鮮における国家神道——檀君をめぐる「同床異夢」……川瀬貴也

#### III 異端神道／霊術／ファシズム

近世の神話知と本田親徳——親徳による篤胤批判の意味……山下久夫

中世神道と近代霊学——その接点をもとめて……小川豊生

異端の神話という神話を超えて——「霊界物語」読解のための覚書……永岡崇

明治二十年代の神道改革と催眠術・心霊研究

——近藤嘉三の魔術論を中心に……栗田英彦

修験道の近代——日本型ファシズムと修験道研究……鈴木正宗

異端神道と日本ファシズム……斎藤英喜

#### IV 学問としての神道

「神道沿革史論」以前の清原貞雄——外来信仰と神道史……大東敬明

神道学を建設する

——井上哲次郎門下：遠藤隆吉と「生々主義」の近代……木村悠之介

柳田国男と黎明期の神道研究——神道談話会を通して……渡勇輝

戦後歴史学と神道——黒田俊雄の研究をめぐる……星優也

「コラム」今出河一友の由緒制作と近代における

率川神社の由緒語り……向村九音

「コラム」海外の近代神道研究……平藤喜久子

### 編者プロフィール

#### 伊藤聡 (いとう さとし)

茨城大学人文社会科学部教授。

専門は日本思想史、中世神道論。

主な著書に『中世天照大神信仰の研究』（法蔵館、二〇

一年）、『神道の形成と中世神話』（吉川弘文館、二〇

一六年）、『神道の中世——伊勢神宮・吉田神宮・中世日

本紀』（中公選書、二〇二〇年）、監修に『中世神道入

門——カミとホトケの織りなす世界』（勉誠出版、二〇

二二年）などがある。

#### 斎藤英喜 (さいとう ひでき)

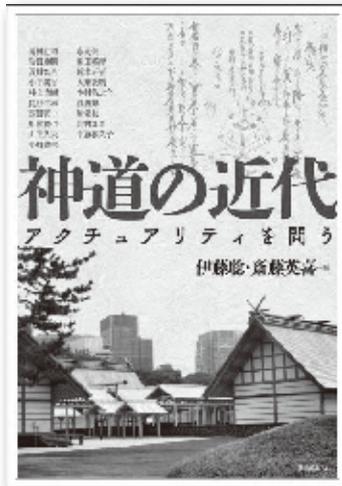
佛教学教授。専門は神話思想史研究。

主な著書に『増補・いざなぎ流 祭文と儀礼』（法蔵館

文庫、二〇一九年）、『折口信夫 神性を拡張する復活

の喜び』（ミネルヴァ書房、二〇一九年）、『読み替えら

れた日本書紀』（角川選書、二〇二〇年）などがある。



定価 3,520 円(本体 3,200 円)  
A5判・並製カバー装・280頁  
ISBN978-4-585-32527-7 C1314  
2023年3月刊行

書名	部数
<b>神道の近代</b> アクチュアリティを問う 【アジア遊学 281】 伊藤聡・斎藤英喜 [編]	定価 3,520 円(本体 3,200 円) A5判・並製カバー装・280頁 ISBN978-4-585-32527-7 C1314 2023年3月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

書物學 23

# 文化財をつなぐ

## ひと・もの・わざ

編集部編



日本には紙や絹を基底材とする多くの文化財が伝存している。環境や利活用に影響を受けやすい脆弱な文化財を守り、伝えていく……。この特筆すべき日本の文化は、どのように支えられてきたのか。そこには、文化財と真摯に対峙した「ひと」と、そして、試行錯誤のなかで磨きあげられた修理保存に関わる「もの」「わざ」があった。文化財を次世代へとつなぐために、研究者、装潢師の人びとは、何を考え、どのように行動してきたのか。一〇〇年を越えてコレクションを今に伝えてきた香雪美術館の修理事業を紐解くことで、文化財を考えるための新たな視点を提示する。

定価 一、九八〇円(税込)  
本体一、八〇〇円(+税)

B5判並製・二二〇頁(フルカラー)  
二〇二三年四月刊行  
ISBN978-4-585-30724-2 C1000

### 特集

〈序論〉香雪美術館の書画コレクションと作品修理事業 ● 大島幸代・林茂郎

#### 第一部 紙ものの修理の現場

「上置本三十六歌仙 猿丸大夫」にみる紙作品の修理 ● 郷司泰仁

「わざのこらむ」折れ伏せ ● 星賀子

「法華経絵巻」の修理から ● 大島幸代

「わざのこらむ」(紙もの)作品の修理事情 ――「相剥ぎ」 ● 大山昭子

「わざのこらむ」タトウ箱 ● 坂田さとし

「大慧宗杲墨蹟 尺牘 才長老宛」の表具と添状 ● 大島幸代

「わざのこらむ」大慧宗杲墨蹟 尺牘 才長老宛」の修理から  
―― 旧補修へのアプローチ ● 川村洋史

岩佐又兵衛「堀江物語絵巻」の修理と旧表装 ● 林茂郎

「わざのこらむ」太巻添軸 ● 星賀子

装潢師がみた紙 ● 鈴木裕

補彩 ● 亀井亮子

#### 第二部 絹ものの修理の現場

「聖徳太子絵伝」の修理と補修絹 ● 郷司泰仁

「わざのこらむ」補修絹 ● 袴田尚志

鳥文斎栄之「美人夏姿図」の裏側(肌裏紙と裏彩色) ● 林茂郎

「わざのこらむ」旧肌裏紙を剥がすこと ● 伊加田剛史

絹織製作技術

―― 東京文化財研究所における調査を通じて ● 菊池理予

―― 絵絹は時代によって変化する

―― 「古代中世絵絹集成」刊行に寄せて ● 泉武夫

#### 第三部 装潢修理を支える理念

表装裂地取り合わせ考 ● 岡岩太郎

近現代表装技術小史 ―― 掛軸の裏打と裏打紙 ● 中野慎之

### 連載

書物の声を聞く書誌学入門「第21回」 ● 佐々木孝浩

松朋堂新取古書解題「第四回」 ● 佐藤道生

書籍はどう動いたのか

―― 近代書籍流通史料の世界「第五回」 ● 磯部敦

# 香雪美術館書画コレクションを支える装潢修理の世界

書名

書物学23  
文化財をつなぐひと・もの・わざ  
香雪美術館書画コレクションを支える装潢修理の世界  
編集部編

冊数

定価 1,980円・本体1,800円

B5判並製・120頁

2023年4月刊行

ISBN978-4-585-30724-2 C1000

冊

ご送付先ご住所(通信欄)

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4 株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 <http://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

亀澤孝幸 〈著〉

## 文と書

## 中国書字思想の探究

著者略歴

亀澤孝幸(かめざわ たかゆき)

立正大学文学部文学科日本語日本文学専攻コース特任講師、大東文化大学文学部中国文学科非常勤講師、同大学書道研究所兼任研究員、人文科学研究所兼任研究員。

専門は中国書道史・書論。訳書に中国国家文物鑑定委員編『中国文化財図鑑』第六巻 文房具(翻訳・監修、科学出版社東京、二〇一六年)、劉濤『中国書法史入門』(科学出版社東京、二〇一三年)がある。

「文字を書くこと」の思想体系を探る――

近代以前の中国において、「書」は文学や絵画と並ぶ最高の芸術とみなされていた。文字をつかさどることは世界の統治と同等の意味を有し、この根源的な政治性とあいまって、文字や言葉を書き記す「書」は中国文化における重要な地位を占めるに至った。書論のみならず文字学、言語哲学、文学論、画論など文字や書くことに関する諸種のテキストを相互に接続、交差させることで、「文字を書くこと」に関する思想――書字思想の体系を明らかにする。近代以降に形成された造形芸術としての片面的な評価を改め、「書字」という人間の普遍的な営みから「書」の意義を捉えかえす意欲作。

## 目次

序論	一 本書の主題
	二 造形芸術としての書への批判
	三 言語に根ざす書
	四 中国書字思想の探究
	五 本書の構成
第一章 言葉・文字・書	一 文字と権力
	二 声の文化と文字の文化
	三 共通語としての漢字・漢文
	四 「史」と書字
	五 言葉への怖れ
	六 書字の蔑視
	七 張懷瓘の書字思想
第二章 文の起源	一 「文」の概念体系
	文字／文様／文章・書物・学問／色彩／音声・音楽／まじわるること／本質の外面的なあらわれ
	かざり・形式／文化・礼楽制度・儀礼／文徳(文治の徳)
	殷代甲骨・金文にみえる「文」
	西周金文にみえる「文」
	「尚書」にみえる「文」
	「詩経」にみえる「文」
	「文」と祖先崇拜
第三章 文と書の芸術化	一 芸術と理論
	二 文と詩
	三 永明文学と永明書学
	四 書の美学の確立
	王献之と羊欣／王僧虔／「工夫」の肯定
	王僧虔「論書」のテキストが孕む問題／蕭子良と梁武帝
第四章 風骨の美学	一 美学概念としての「風骨」
	二 魏晋南北朝から唐末までの「風骨」の用例
	三 「風骨」の美学の形成
	四 劉勰の「風骨」論
	五 張懷瓘の「風骨」論
	書論論を貫く「風骨の美学」
	張懷瓘の書論にみえる「風骨」
	「風神」と「風骨」
	「風骨」と「尚古主義」
	「風骨」と「四賢論の系譜」
	形骸化した王羲之書法への批判
	唐代文学に受け継がれた「風骨」
第五章 文・書・画の理論的統合	一 劉勰の文論
	二 張懷瓘の書論
	三 張彦遠の画論
	張懷瓘と張彦遠／書画同体論
	画聖・呉道玄と「山水の変」
	画の社会的地位
	劉勰・張懷瓘・張彦遠

参考文献一覧・あとがき・初出覧・索引

定価 8,800 円  
本体 8,000 円A5判・上製カバー装・288頁  
ISBN978-4-585-37008-6 C3071  
2023年3月刊行

書名	部数
文と書 中国書字思想の探究 亀澤孝幸(著)	部
定価8,800円(本体価格8,000円) A5判・上製カバー装・288頁 2023年3月刊行 ISBN978-4-585-37008-6 C3071	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
千代田区神田三崎町2-18-4株式会社勉誠社 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX●03-5215-9025

# 輞川図と蘭亭曲水図

## イメージとテキストの交響

もうせんず とらんでいきよくすいず

### カラー口絵

## 野田麻美・ 静岡県立美術館〈編〉

東アジアにおける文学・書・画の世界を考えるうえで、とりわけ重厚な二つの画題

——「輞川図」と「蘭亭曲水図」。

文人画の祖とされる王維、書聖として崇められる王羲之にまつわる故事を絵画化するなかで、園林を舞台とする文人たちの交流は、いかにして描かれ、

その風景表現はどのように展開したのか。

二〇二二年に修理を終えた静岡県立美術館所蔵の「輞川図巻」をはじめ、近年注目を集める「蘇州片」や、久隅守景、池大雅、富岡鉄斎らの優品など、中国と日本、そして、宋代から近代に至るまでの王維・王羲之イメージを精査・検討。

諸分野の第一線の研究者による論考とカラー図版を含む一二〇点超の書画資料より、イメージとテキストの連環が織りなすダイナミックな世界を照らし出す。

### 編者プロフィール

#### 野田麻美 (のだ あさみ)

一九七九年生まれ。神戸大学大学院人文学研究科専任講師・静岡県立美術館客員学芸員。専門は日本美術史(近世絵画)。

著書に『美しき庭園画の世界——江戸絵画にみる現実の理想郷』(静岡県立美術館、二〇一七年)、『忘れられた江戸絵画史の本流——江戸狩野派の二五〇年／江戸狩野派の古典学習——その基盤と広がり』(静岡県立美術館、二〇二二年) などがある。

### はじめに ●野田麻美

#### 第一部 輞川図をめぐる諸問題

——元々明代／近代日本の輞川図と『輞川集』

紺野達也 ● 絵画における王維「輞川集」——元明の面論・画評を中心に

呉 孟晋 ● 静岡県立美術館本からみる輞川図の展開

板倉聖哲 ● 模倣か空想か、複製か贋作——「蘇州片」をめぐる諸問題

植松瑞希 ● 明代蘇州における輞川憧憬の諸相

塚本磨充 ● 日本近代における南面の危機意識と「輞川図巻」・王維の再評価

——富岡鉄斎から小室翠雲まで

#### 第二部 蘭亭曲水図をめぐる諸問題

——明代／江戸時代の蘭亭曲水図と『蘭亭序』

佐藤康宏 ● 蘭亭曲水図の表現——明代中期から江戸中期へ

横尾拓真 ● コラム 大雅作品に見る烹茶場面の添景について

——静岡県立美術館所蔵「蘭亭曲水・龍山勝会図屏風」を中心に

野田麻美 ● 久隅守景「蘭亭曲水図屏風」試論

——江戸狩野派の蘭亭曲水図にみる遊宴図像の展開

六人部克典 ● コラム 宋代以降の王羲之書法の継承

高橋利郎 ● コラム 江戸時代の「蘭亭序」

「輞川図と蘭亭曲水図」展 カラー口絵 作品解説

「輞川図と蘭亭曲水図」展 展示リスト

おわりに ●野田麻美

書名	部数
<b>輞川図と蘭亭曲水図</b> イメージとテキストの交響 野田麻美・静岡県立美術館〈編〉	定價 10,450円(本体価格9,500円) A5判・上製カバー装・304頁 2023年5月刊行 ISBN978-4-585-37009-3 C3701
ご送付先ご住所(通信欄)	

# もやもや日本近代美術



定価 五、二八〇円(税込)「本体四、八〇〇円」  
A5判並製・カバー装・カラー口絵一六頁・四七二頁  
二〇二二年十二月刊行  
ISBN978-4-585-37004-8 C1070

境界を揺るがす視覚イメージ

増野恵子 (代表)  
安松みゆき  
河田明久  
志邨匠子  
瀧井直子  
奥間政作  
石井香絵 [編]



誰が作ったのか?  
何を描いたのか?  
どこで作られたのか?  
何を伝えたいのか?  
稼げるのか?

それは「美術」なのか?  
「美術」って何だ?

「美術」と「美術以外」の間に  
引かれてきた境界線。  
江戸と明治、伝統と西洋文化、  
書画骨董と調度品、  
東京と地方、日本と海外……  
様々な「狭間」の中に生じ、  
「日本近代美術史」の周辺や外部、  
スキマに山積している  
「もやもや」する問題を探る  
画期的な一冊!

図版点数  
200点超

もくじ  
カラー口絵

まえがき ● 増野恵子

【序章】歴史の形成と視覚イメージ——近代土下座考 ● 丹尾安典  
第1部 それは美術なのか?  
明治工芸で考えるオリジナリティをめぐる主従関係  
——渡辺省亭・河村晴山・沼田一雅 ● 岡本隆志

毛筆習字教育の存廃をめぐる諸問題 ● 志邨匠子  
近代歴史画の萌芽——国立銀行紙幣の歴史・神話イメージ ● 増野恵子

第2部 場はイメージとどうかかわるか?  
ヒトラーへの贈り物・ヒトラーからの贈り物——いびつな美術交流の様相 ● 安松みゆき  
エト源次郎とスチュアート・キューリンをめぐる ● 瀧井直子

幕末明治初期京都と田村宗立考 ● 石井香絵  
絵師たちの「世代わり」——琉球処分と沖繩の絵師達 ● 奥間政作

第3部 これも美術か?  
近代木版職人列伝抄——杉崎掃四之助・木村徳太郎・吉田市松・伊上凡骨・

西村熊吉・村瀬錦司・斧銀太郎・漆原木虫 ● 岩切信一郎  
絵葉書の戦争、掌上の帝国——恤兵・蒐集・記念 ● 向後恵里子  
コマ絵雑考 ● 西山純子

命令する労働者から動員される労働者へ——プロレタリア漫画と芸術学院 ● 喜多孝臣  
戦前洋画壇の生活 ● 河田明久

第4部 イメージは何をあらわしているか?  
神話的記憶と歴史的記憶——広島平和記念資料館の展示について

● ミカエル・リュケン (坂井利佐子訳)  
護れ大空!——戦時日本における国民防空の視覚表現

● ジェニファー・ワイゼンフェルド (中村尚明訳)  
菊花御紋考 ● 谷田博幸

あとがき ● 増野恵子・安松みゆき



書名	部数
もやもや日本近代美術 境界を揺るがす視覚イメージ 増野恵子・安松みゆき・河田明久・志邨匠子・瀧井直子・奥間政作・石井香絵 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	部

定価 5,280円(本体価格4,800円)

A5判・並製・カバー装  
カラー口絵16頁+本文 472頁  
2022年12月刊行  
ISBN978-4-585-37004-8 C1070

東京大学教授

成城大学教授

納富信留・明星聖子〈編〉

# フェイク・スペクトラム

文学における〈嘘〉の諸相

定価3,520円・本体3,200円

A5判並製カバー装・312頁・2023年1月刊行・ISBN978-4-585-39015-2 C1090

## フェイクとは何か？嘘、偽り、騙し、騙り……

否定的な響きをもつこれらの言葉・現象を、私たちは真摯に考えてきたことがあったらどうか？

「嘘も方便」という表現からも捉えられるように、社会におけるこれらの行為は多義的な面を持ち合わせている。

そして、言葉のいとなみが広がる文学の世界には、「フェイクする存在」としての人間が活写されている。

中世から現代にいたる、洋の東西を越えた11の事例を考察することにより、

「フェイク」という問題の多面性と本質を浮かび上がらせる画期的な書！

### 目次

◎はじめに…納富信留

◎「フェイク」とは何か、「フェイク」をどう論じるか？…納富信留

### 第1部 現代とは異なるフェイク

◎信憑性の戦略——『ジョン・マンデヴィルの書』をめぐる…松田 隆美◎書簡は語／騙る——初期近代イギリスのジャーナリズムとフィクションの誕生…井出新◎近代的作者の誕生——セルバンテスと『贋作 ドン・キホーテ』…瀧本佳容子◎公私のせめぎ合いと隠された主題——ダニエル・デフォー『ペスト』をめぐる…高畑悠介

### 第2部 編集にまつわるフェイク

◎正典・外典・偽典——『聖書』をめぐる…伊藤博明◎虚像としての編集——「大島本源氏物語」をめぐる…佐々木孝浩◎「体系哲学者」という虚像のあとで——ヘーゲル講義録をめぐる…下田 和宣◎フェイクの悲劇的な帰結——フリードリヒ・ニーチェの『権力への意志』をめぐる…トーマス・ペーカー [翻訳：矢羽々崇]

### 第3部 現代に生きるフェイク

◎フェイクな恋のフェイクな手紙——ブランツ・カフカの『判決』と『変身』をめぐる…明星 聖子◎共有される疑似現実を生きるということ——トマス・ピンチン『競売ナンバー 49 の叫び』をめぐる…中谷 崇◎捏造されたホロコースト回想録——ビンヤミン・ヴィルコミルスキーの『断片』をめぐる…北島玲子◎あとがき…明星聖子

書名	冊数
フェイク・スペクトラム——文学における〈嘘〉の諸相 納富信留・明星聖子〈編〉	冊
定価3,520円・本体3,200円 A5判並製カバー装・312頁 2023年1月刊行 ISBN978-4-585-39015-2 C1090	
ご送付先ご住所（通信欄）	

勉誠出版

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。  
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 WEBSITE.http://bensei.jp/

FAX◎03-5215-9025

# 霊峰の文化史

## 世界遺産・富士山と

## 世界の山岳信仰

秋道智彌〔著〕

### ヒトはなぜ山に祈るのか

信仰の対象とされ、さまざまな神話を持ち、その土地独自の方法で祀られる「霊峰」。

屹立する雪山や秀麗な裾野をもつ山、苔むす鬱蒼とした山中の幽谷、

奇岩の露出する異形の山塊は、自然そのものへの感動と魅力以上に

人びとを非日常の世界にいざなってきた。神が自然物の山や大きな岩に宿るとする認識は

どのようにして生まれたのか。ヒトは山をみて何を感じ、山から受ける

恩恵や災禍をどのように受け止めてきたのか。世界遺産となった富士山、立山、白山などの

日本の山のみならず、エヴェレストやキリマンジャロ、アグン、カイラス山、廬山、黄山など

世界各地の「霊峰」と呼ばれる山やまを、多数の図版とともに解説。

ヒトが山に込める想いを解き明かす。

定価 三、五二〇円(税込)  
〔本体価格 三、二〇〇円〕  
A5判・並製カバー装・三六〇頁  
二〇二三年五月刊行  
ISBN978-4-585-33005-9 C0039

### はじめに

- 1 霊峰と霊性◎2 祈りの多様性◎3 名山と霊峰
- 4 世界遺産と霊峰◎5 霊峰を評価する

### 第1章 山岳信仰と世界観

- 1 山と風土論◎2 風土と水・火の思想◎3 「気」の思想
- 4 超自然の形象論◎5 聖地と霊場

### 第2章 アニミズムと霊性

- 1 山岳信仰とアニミズム◎2 霊性とはなにか
- 3 生き物の霊性と仏性

### 第3章 山岳信仰の基層と民俗

- 1 山の民俗と領有◎2 山と火・水・祖霊信仰◎3 神奈備と磐座
- 4 「山の神」信仰の民俗◎5 海と山岳信仰

### 第4章 修験道と山

- 1 修験道と役小角・最澄・空海◎2 熊野三山◎3 立山と白山
- 4 出羽三山と鳥海山

### 第5章 世界の霊峰をひもとく

- 1 古代インド・中国・朝鮮の山岳信仰◎2 中国・朝鮮の霊峰
- 3 世界の七大霊峰◎4 富士山と世界の富士
- 5 アジア・オセアニアの霊峰

### 第6章 日本の霊峰と山岳信仰の多様性

- 1 アイヌの山岳信仰と神送り◎2 琉球列島の神と御嶽・グスク
- 3 東北の霊峰◎4 関東・中部の霊峰◎5 近畿以西の霊峰

### 第7章 山岳信仰の変容と持続性

- 1 民間信仰から国家祭祀まで◎2 明治期の山岳信仰の実態
- 3 山岳信仰の類型論

### さいごに

参考文献

索引(山名/人名/事項)

### 秋道智彌

(あきみち・ともや)

山梨県立富士山世界遺産センター所長。専門は生態人類学、海洋民族学、民族生物学。

主な編著書に『魚と人の文明論』(臨川書店、二〇一七年)、『交錯する世界 自然と文化の再構築 フィリップ・デスコラとの対話』(編著、京都大学学術出版会、二〇一八年)、『たたきの人類史』(玉川大学出版部、二〇一九年)、『絶滅危惧種を喰らう』(秋道智彌・岩崎望編、勉誠出版、二〇二二年)などがある。

書名	部数
<b>霊峰の文化史</b> 世界遺産・富士山と世界の山岳信仰 秋道智彌(著)	定価 3,520円(本体価格3,200円) A5判・並製カバー装・360頁 2023年5月刊行 ISBN978-4-585-33005-9 C0039
ご送付先ご住所(通信欄)	

# デジタル アーカイブの 新展開

## デジタルアーカイブの世界の 鳥瞰図を示す——

デジタルアーカイブを取り巻く環境や技術は日進月歩で変化・進化を遂げている。本書は文化財のデジタル化や、映画・新聞・テレビ・ウェブなどメディアのデジタルアーカイブ、3DやAIを始めとする革新的技術の動向など、具体的な事例を豊富な図とともに紹介することで、デジタルアーカイブの最新の現状をわかりやすく解説した入門的な一冊！



こちらから  
ご注文いただけます。



勉誠webページ

## 時実象一 [著]

(ときざね・そういち)

東京大学大学院情報学環高等客員研究員。専門はデジタルアーカイブ、学術情報、ウェブ検索、ウィキペディア。主な著書に『研究者のコピペと捏造』(樹村房、2018年)、『コピペと捏造』(樹村房、2016年)、『デジタル・アーカイブの最前線』(講談社、2015年)などがある。デジタルアーカイブ学会理事。

定価**2,310**円(本体2,100円)

四六判並製カバー装・320頁  
ISBN 978-4-585-30009-0・C0000  
2023年3月刊行

## 目次

はじめに

### 第1章 災害とデジタルアーカイブ

- 1-1 新型コロナウイルス感染症をアーカイブする
- 1-2 東日本大震災を記録する
- 1-3 阪神淡路大震災を記録する

### 第2章 文化を保存するデジタルアーカイブ

- 2-1 文化財
- 2-2 デジタルアーカイブ・ポータル
- 2-3 書籍
- 2-4 写真・動画

### 第3章 メディアを保存するデジタルアーカイブ

- 3-1 新聞
- 3-2 テレビ
- 3-3 映画
- 3-4 コロナと演劇アーカイブ
- 3-5 マンガとゲーム
- 3-6 ウェブアーカイブ

### 第4章 3DとAIが記録する世界

- 4-1 戦争・災害と3D
- 4-2 ドローンの活躍
- 4-3 VR/ARを活用する博物館・美術館
- 4-4 画像を自由にあやつるIIF
- 4-5 OCRの進歩
- 4-6 カラー化でよみがえる白黒写真
- 4-7 みんなで翻刻

### 第5章 デジタルアーカイブは生きている

- 5-1 デジタルアーカイブの学術・教育での活用
- 5-2 ウィキペディアと市民アーカイブ
- 5-3 デジタル人文学
- 5-4 企業の知的資産をデジタルアーカイブに
- 5-5 学術論文のアーカイブ
- 5-6 公文書

### 第6章 おわりに デジタルアーカイブの周辺

- 6-1 記録と保存
- 6-2 オリジナルの保存
- 6-3 アーカイブとフェイク
- 6-4 改革される著作権法制

あとがき

書名	部数
<p><b>デジタルアーカイブの新展開</b></p> <p>時実象一[著]</p>	<p>定価<b>2,310</b>円(本体2,100円)</p> <p>四六判並製カバー装・320頁</p> <p>ISBN 978-4-585-30009-0・C0000</p> <p>2023年3月刊行</p>
<p>ご送付先 (氏名・住所・電話番号)</p>	

日本古文書学会編集  
古文書研究  
第95号

2023年6月

定価 4,180円(税込)・本体 3,800円  
B5判並製・カラー口絵2頁+本文160頁  
ISBN978-4-585-32405-8 C3321  
2023年6月刊行歴史学をはじめ、諸分野における研究の基盤をなす古文書学。  
その最前線を伝える学術雑誌。年2回刊行。

## 目次

## カラー口絵

## 論文

永禄・天正期九州の争乱と秋月種実 ..... 中村知裕

## 研究ノート

五十一という神話：御成敗式目と十七条憲法 ..... 佐藤雄基

北畠親房の〈僭上〉について ..... 村井章介

「斑鳩旧記類集」からみる南北朝期室町幕府の謀書判定手続き ..... 山本康司

中世後期法隆寺——室町幕府・在京守護間の交渉の実態と変遷

——「京都寺官」に注目して—— ..... 竹内惇人

豊臣政権下における長岡藤孝の動向——島津氏交渉を中心に—— ..... 谷橋啓太

## 史料紹介

「地藏院殿御灌頂記」について ..... 伴瀬明美

## 追悼文

柴辻俊六先生のお仕事と思い出——戦国古文書研究の確立—— ..... 須藤茂樹

## 古文書めぐり

成城大学民俗学研究所の所蔵資料 ..... 林 洋平

## 研究余滴

徳川家康の左京大夫任官はいつか ..... 遠藤珠紀

## 書評と紹介

黒田洋子著『正倉院文書の一研究——奈良時代の公文と書状——』 ..... 山本幸男

水野嶺著『戦国末期の足利将軍権力』 ..... 久野雅司

萩原大輔著『異聞 本能寺の変——『乙夜之書物』が記す光秀の乱』 ..... 柴 裕之

渡邊佳子著『近代日本の統治機構とアーカイブズ——文書管理の変遷を踏まえて——』 ..... 清水善仁

尚友倶楽部・原口大輔・西山直志編『松本学日記[昭和十四年～二十二年]』 ..... 官田光史

日本古文書学会第五十四回学術大会要旨／令和四年度新指定文化財紹介／彙報

## 口絵解説

平重盛書状 一通 ..... 高梨真行

## 英文レジュメ

書名	部数
古文書研究 第95号 日本古文書学会 [編]	定価4,180円(税込)・本体3,800円 B5判並製・カラー口絵2頁+本文160頁 2023年6月刊行 ISBN978-4-585-32405-8 C3321
ご送付先ご住所(通信欄)	部